

## 第4章

---

# 広報・交流活動

---

先端研では、研究・教育のみならず、パンフレット等の発行、セミナー、シンポジウム等の開催など、外部に向けてさまざまな広報・交流活動を行ってきている。このような活動は多くの研究教育機関で行われているが、「公開性」を4つのモットーのひとつとしている先端研では、とりわけ重視して活発に行っている。東大内では新設の機関であるだけでなく、組織も立地も異端である先端研は、自らの存在を広報し続けることを運命づけられた機関なのだと見えよう。

このため、広報・交流活動の媒体や内容は多岐にわたり、時代によっても変化が見られる。ウェブのように時代に合わせた変化もあれば、先端研紀要の改廃のような試行錯誤の結果としての変化もある。その意味で、これら広報・交流活動の変遷を追い、整理することは、先端研がその存在理由を模索する歴史を描くようなものと言える。

本章では、第1節で先端研ニュースに代表される刊行物について整理し、第2節ではセミナー、シンポジウム等、研究教育・交流活動について紹介する。第3節では、先端研に関連した報道について、新聞記事データベースから分析を行う。

---

## 第1節 刊行物

先端研では、自組織やその活動の概要を広く一般に説明するために、数種類の冊子を発行している。「公開性」を重視する先端研において、これら刊行物を通じた広報活動の重要性は非常に高いものであり、教授会や広報担当の委員会でも多くの時間を割いてパンフレットの表紙のデザインからニュースの内容、発行部数について議論を行ったようである。

先端研による刊行物は、定期的に発行される広報冊子だけでなく、不定期で出版される書籍やパンフレットもある。本節では、そうした不定期のものも含め、主な刊行物についておおよその内容や発行の形態等を整理、解説していく。

### 1. 先端研ニュース

先端研ニュースは、1987年7月に創刊されて以降、現在まで発行が続いている。設立当初から20年間欠かさず発行されているのは、この先端研ニュースと年次発行の先端研概要（パンフレット）のみである。

先端研ニュースは、2007年4月発行の号で第62号を数えている。ただし第42号は欠番であり、別に増刊号が計3号、95年度に出ている（資料4-1-1）。当初は年に1～2回の発行であったが、93年頃から発行回数を増やし、01年以降は年4回発行されている。

内容は、新任の挨拶、人事異動、その他先端研の主な出来事、所属教官の寄稿、受賞のお知らせ、研究室紹介などといった日々の活動状況であり、学内・一般向けに発行されている。時代によって体裁や内容が変化しており、設立当初は新任の挨拶とセンター内の行事や出来事の報告が中心であり、中には事務職員の結婚の報告などもあった。総じて、センター内の交流を意図して作られていると言えるだろう。近年になるに従い、センター外向けの記事が多くなり、特に研究の紹介に力を入れている。一方で、センター内の出来事に関する報告は稀になっている。これは、センター内の交流イベントが昔に比べて減っていることと関係していると考えられる。

### 2. 先端研概要

一般向けに先端研の概要を示したカラー刷りのパンフレットである。設立前の1986年度から現在まで毎年1回発行されている。当初は組織図、各分野・部門の研究内容、プロジェクトの紹介などが主な記載事項であった。その後、先端研の沿革や研究者の紹介、財務状況などが加わり、内容の充実が図られている。年度内の発行時期は定まっておらず、大部門改組に従って修正の紙が付された版もある。設立当初に比べ、最近の号は分厚くなっているが、これは構成人員が格段に増えたこととも関係している。

---

1988年、91年、99年、2005年に、それぞれデザインの大規模な刷新が図られている。また、86年度版は、表紙に先端研の多岐にわたる研究活動を一本の木になぞらえた絵が掲げられて特徴的である（口絵参照）。以降の版は、先端研、駒場リサーチキャンパスの中心の建築物である13号館を表紙に据えている（2005年度版を除く）。とりわけ88～90年度は深い緑の向こうに13号館を望む、印象的な絵が表紙に使用されている。

95年度からは教員の顔写真も載るようになり、一層の充実が図られている。2000年度版の概要からは、「2000/2001」という暦年表記の号表示が表紙に採用されている。2002年度版から通常の体裁に戻り、以降は毎年違う表紙を採用している。2005年度版からは表紙が厚紙で2色刷りとなり、2005年度（日本語版）では初めて写真も絵も表紙に載らなかった（英語版では、4号館と思われる建物が配置されている）。

### 3. 先端研紀要

第1巻（1987年度）は1988年9月に発行された。以後毎年1回、9月前後に前年度の紀要を発行していた。第5巻まではB5判、第10巻まではA4判であった。第10巻（1996年度）まで冊子体で発行されていたが、第11巻、第12巻は電子体で発行される。この2巻は現在も公式ウェブサイト上で見ることができるが、ところどころ原稿が未着のままである。

内容は、先端研に関する行事、研究成果や活動状況のまとめである。センター長の緒言、人事、規則、協議会・参与会の開催、先端研の組織構成、研究・教育・国際交流・研究交流・国際活動に関する活動記録、教官の発表論文・著書、各部門・分野の研究現況などが整理され記録されている。

このように整理された形での紀要は第12巻（1998年度）が最後となった。その理由は、紀要の内容が各研究室等のウェブサイトの内容と重複するので、1999年度からは年1回各研究室等のウェブサイトのデータをダウンロードしてCD-ROM化し、これを紀要と称するようになった<sup>1)</sup>。したがって、その後「紀要」と呼ばれているものは、整理され、一覧化されたものではない。外部参照のリンクなどはここに反映されていないため、各種セミナーの内容等、さまざまな情報が確認不能な状態となっている。この形式の紀要も2002年ごろにはなくなったようである。

先端研の活動状況を網羅的にまとめる役割を果たしていた先端研紀要が紆余曲折を経て静かに廃止されたということは、先端研の存在理由、組織的性格の変化を象徴しているのかもしれない。この廃止と同時並行で、次の2つの広報媒体が創刊されるからである。

### 4. 先端研Watcher

文部科学省の科学技術振興調整費による戦略的研究拠点育成プログラム（スーパーCOE）によって編集・制作された広報誌である。

2002年10月に創刊前号、同年11月に創刊号を発行し、以後毎月1回という短い間隔で発行されていた。04年6月の20号で、AcTeB Reviewとともに終刊を迎えた。

---

1) 2000年度第9回教授総会において決定。

各号は、インタビュー、産学連携ニュース、サポーター（もしくはパートナー、ディスカッション）、インフォメーションの4つのコーナーからなる。

各コーナーの概要を簡単に説明すると、インタビューには、先端研の研究者へのインタビューが、産学連携ニュースには、先端研に限らず広く産学連携にかかわる出来事が掲載された。サポーターには、CASTIやASTECの関係者等の談話が、パートナーには、一般企業で知的財産戦略や産学連携に携わる人々の談話が掲載された。ディスカッションでは、センター長と客員教授との対談や、先端研と同様にスーパーCOEに選ばれた大阪大学フロンティア研究センター（FRC）の機構長との対談が行われている。

企画、編集、制作は(株)日経BPクリエイティブが担当していた。

## 5. AcTeB Review

先端テクノロジービジネスセンター（AcTeB）が編集、発行していた広報誌である。先端研 Watcherと同様に、スーパーCOEにより制作されていた。2002年3月に創刊され、03年10月の第6号が終刊となった。年3回の発刊であった。

誌名や「産学連携とテクノロジービジネス」との副題が示すように、スーパーCOEプロジェクトでも特に産学連携や知的財産権を中心とするオフキャンパスの話題や活動に焦点を当てた広報誌であるが、南谷崇センター長（当時）による先端研改革論等も掲載されている。

## 6. 公式ウェブサイト

先端研の公式ウェブサイトは1994年9月28日に開設された。その後、幾度かのデザインの変更を経て、現在日本語版は<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/>にて閲覧可能である。報道やイベント等の掲載は頻繁に行われ、ビデオ等の配信も積極的に行っている一方で、研究者リストの内容など、基本的な事項についての更新はそれほど行われていない。

## 7. 公式メールマガジン「東大先端研NAVI」

2005年1月31日の開始以来、07年6月時点で、計51号（通常号41通、臨時号9通、創刊準備号1通）が発行されている。配信・停止の登録は先端研公式ウェブサイトから行える。平均すると月2回程度発行されている計算になる。

内容は、先端研に関するニューズピック、公式ウェブサイトの更新情報、イベントに関する情報、書籍の紹介や報道・受賞のお知らせが中心である。

---

## 8. その他の刊行物

定期刊行物ではないが、先端研に関連する刊行物を紹介する。

先端研自身が発行したものとしては、先端研創立10周年を記念して1997年5月に刊行された『先端研10年の歩み』というパンフレットがある。これは、10年間の人事、分野の移り変わり等をまとめたものである。

書籍としては、以下のようなものが挙げられる。

**那野比古『東大・先端研——「世界」を狙う「日本」の頭脳』(NTT出版、1991年)**

著者が先端研の各研究室を訪れ、そのインタビュー等をもとに編集し、先端研の研究活動状況を個々の教員に焦点を当てて紹介する内容である。境界研時限到来問題から続く、設立の流れも押さえられている。

**東京大学先端科学技術研究センター編『東大先端研 ジェネリック・テクノロジーの発振』(三田出版会、1991年)**

先端研の各部門の教官のインタビューを中心に構成された書籍である。柳田博明センター長(当時)によるあしがきの言葉を借りれば、「自由で、機動的で、ネアカで、開放的な先端研の姿を紹介する」「自由な雰囲気の手帳がほしいという要望」によってできたということである。

**宮本喜一『挑戦続く東大先端研——経営戦略で先頭ひた走る』(日経BPクリエーティブ、2004年)**

スーパーCOE期の先端研について、これまでの歩みと改革の方向性についてまとめた書籍である。先端研が導入した制度(特任教員等)の背景や意義、知的財産権関連の話題について特に大きく取り上げており、研究の先進性や個々の教員の発想に着目した前2書とは対照的である。

また、先端研のみを扱ったものではないが、三田出版会の「科学技術を先導する30人」のシリーズは、先端研所属教員が多数登場し、また編者、インタビュアーとして先端研関係者が多数を占めている。

正規の出版物ではないが、立花隆先端研客員教授(1995~98年在任)を中心とする「先端研探検団」は、駒場Ⅱキャンパス内のさまざまな遺物について調査を行い、『先端研探検団報告 第1回』(1995年)、『先端研探検団報告 第2回』(1996年)、『先端研探検団報告 第3回』(1997年)の3つの冊子を作成している。主に航空研時代の話題が中心である。

立花客員教授は、他にも『科学朝日』(1996年から『サイアス』と改題)の連載で先端研を紹介したり、後述(210ページ)のNHKの先端研紹介番組でナビゲーターを務めるなど、先端研の名前を世間に広めることに多大な貢献をなした。

## 資料4-1-1 先端研ニュース各号目次（創刊号～No.62）

年	月	No.	ページ	目次				
1987	7	創刊号	1	センター開設の御挨拶	センター長 大越孝敬			
			2	設立の挨拶	学長 森亘・総長特別補佐 有馬朗人			
			3～6	設立に寄せて	農学部教授 鴻巣章二・学術情報センター所長 猪瀬博 工学部長 伊理正夫			
			7	先端科学技術研究センター組織図	医学部長 伊藤正男・工学部境界領域研究施設主任 大須賀節雄 宇宙科学研究所所長 小田稔			
1987	12	第2号	8～15	新任の挨拶	化学認識機能材料・フォトニクス材料・耐環境材料・光デバイス・生体計測・都市環境システム・事務部			
			16	キャンパス建物配置図				
			1	寄付研究部門開設				
			2～3	新任の挨拶				
1987	12	第2号	4～7	研究紹介	コヒーレント光通信と光計測／光デバイス 大越孝敬 シュミレーションから逆解析へ／耐環境材料 木原諄二 温度と外科／生体計測 藤正巖 “究極”の光センサ／光デバイス 保立和夫 地震と高性能材料／耐環境材料 岸輝雄			
			8～9	先端科学に望む	先端研に期待すること一次の世代へのビジョンを一／ 科学技術産業相関 竹内啓 セラミックスと先端科学／化学認識機能材料 柳田博明			
			10	研究雑感	科学技術ブーム？／フォトニクス材料 伊藤良一 統計のセンサー機能／科学技術産業相関 廣松毅 風流な実験室／化学認識機能材料 宮山勝			
			11	紀行	北朝鮮の宿舎／伊藤滋			
			12	先端科学技術セミナー開設				
			13～14	駒場とキャンパス	“懇話会”を作ろう／光デバイス 廣瀬明 研究室整備／化学認識機能材料 武藤範雄 駒場・自然・研究／フォトニクス材料 深津晋 落葉のころ／事務部総務掛 夏目美恵			
			15	行事	開所パーティ・懇談会			
			1988	7	第3号		RCAST 全員集会におけるあいさつ（1998年4月11日 於先端研13号館3階講堂）	センター長 大越孝敬
						1	先端科学技術研究センター組織図	
						2～23	新任の挨拶 シンボルマーク 公募のお知らせ	
						24	建物配置図	
1989	3	第4号	1	新年を迎えて—1989年1月5日の先端研新年顔合せの会での挨拶から—	センター長 大越孝敬			
			2	第1回先端研協議会の開催				
			3	第1回先端研参加会の開催				
			4～9	新任の挨拶				
			8	シンボルマーク決まる				
			10～11	花澤知隆さんを偲んで				
			12～13	イベント	先端研プロセスセンター見学・披露会 先端研スポーツトーナメント 先端研、囲碁の部で優勝 東大生協先端研支所発足記念パーティー 楽しかったRCAST会忘年会			
			14	受賞	大越センター長がIEEEリープマン賞を受賞 民谷栄一助教授が日本化学会進歩賞を受賞			
				発見	書庫から貴重な古書を発見			
			15～16	研究室訪問	ロボティクス材料分野			

			巨大システム分野 科学技術倫理分野
	17 ~ 20	先端研プロセスセンターが始動	
1989 11 第5号	1 ~ 2	センター長に就任して	センター長 柳田博明
	3 ~ 4	国際公開フォーラム開催！ 「人類の未来に関する創造的研究をめぐって」—世界の高等研究所の夢と現実—	
	5 ~ 6	先端科学技術公開シンポジウム 研究室訪問	高速電子機能デバイス部門 分子情報機能材料分野 ファクトリーオートメーション分野 科学技術産業相関分野
	7 ~ 8	研究会活動	ニュードレネージ研究会 セミナー「先端技術と経済社会」 「極限材料と信頼性」研究会
	9	受賞	岸輝雄教授がチタニウム協会技術功績賞を受賞 三田達教授が高分子学会高分子科学功績賞及びスガウエザリング技術振興財団科学技術賞を受賞 柳田博明教授が科学技術庁注目発明選定証を受ける 鳥越一平助手が計測自動制御学会論文賞を受賞 武田展雄助教授が強化プラスチック協会論文賞を受賞
	10 ~ 15	新任の挨拶	
1990 5 第6号	1 ~ 2	センター長挨拶	センター長 柳田博明
	3	第4回 先端科学技術公開シンポジウム 21世紀への先端科学技術をどう展開するか~90年代の人材育成	
	4 ~ 5	退官にあたって	三田達 東口實
	6 ~ 8	研究室訪問	耐環境材料分野 極小デバイス分野 物理情報変換デバイス分野 バイオメカニクス分野 情報技術社会相関分野
	9	研究会活動	GC-5研究会 マイクロマシン研究会
	10	受賞	大越孝敬教授が電子情報通信学会著述賞を受賞 榊裕之教授が第3回日本IBM科学賞を受賞 軽部征夫教授が市村賞を受賞
	11 ~ 17	新任の挨拶	
	18	コージェネレーションシステムの導入	
1991 3 第7号	1	センター長挨拶	センター長 柳田博明
	2 ~ 3	第2回 RCAST オープンハウス 第5回、第6回 先端科学技術公開シンポジウム	
	4 ~ 5	研究室訪問	フォトニクス材料分野 分子情報機能材料分野 高速電子機能デバイス分野 知識処理・伝達システム分野
	6	受賞	大越孝敬教授が「電波の日」郵政大臣表彰を受ける 大越孝敬教授が放送文化賞を受賞 館暲助教授が計測自動制御学会フェローの称号を受賞 館暲助教授が計測自動制御学会論文賞を受賞 荒川泰彦助教授が Young Scientist Award を受賞
	7 ~ 15	新任の挨拶	
	16 ~ 18	3つの重点領域研究（科学研究費補助金）のセンターに	高度技術社会のパスバクティブ（1990年度～）／研究領域代表者：竹内啓

			超高速・超並列光エレクトロニクス（1991年度～）／研究領域代表者：大越孝敬 知識科学における概念形成と知識獲得に関する研究（1991年度～）／研究領域代表者：大須賀節雄
1991 9 第8号	1	センター長に就任して	センター長 大須賀節雄
	2～3	第7回 先端科学技術シンポジウム	
	4	CSK～RCAST 人工知能講演会	
	5～7	研究室訪問	化学認識機能材料分野 光デバイス分野 生体計測分野 バイオセンサー分野 都市環境システム分野
	7～8	全学一般教育ゼミナール 先端材料の世界	
	8	受賞	大越孝敬教授がテレビジョン学会功績賞を受賞 大越孝敬教授が藤原賞を受賞 廣松毅教授が第6回電気通信普及財団賞（テレコム社会科学賞）を受賞 西村幸夫助教授が日本建築学会奨励賞（論文）を受賞
	9～15	新任の挨拶	
1992 3 第9号	1	センター長挨拶	センター長 大須賀節雄
	2	第3回 先端研オープンハウス	
	3	第8回、第9回 先端科学技術公開シンポジウム 退官にあたって／石井泰（物理情報変換デバイス分野）	
	4	駒場30年／谷田好通（バイオメカニクス分野）	
	5	退官のご挨拶 土田坦（事務部）	
	6	「先端学際工学専攻」の設置が決定	
	7	量子材料（日立）寄付研究部門開設 全学一般教育ゼミ「先端科学技術研究の動向」修了報告	
	8	受賞	柳田博明教授が日本セラミックス協会創立100周年記念学術功労賞を受賞 大越孝敬教授がベルギー王立アカデミー外国人会員に選ばれる 榊裕之教授、荒川泰彦助教授が電子情報通信学会業績賞を受賞 荒川泰彦助教授が日本IBM科学賞を受賞 舘暲助教授がロボット学会技術賞を受賞 猪瀬博先生（本センター参与）が文化勲章を受賞 岡村総吾先生（本センター参与）が文化功労者顕彰を受ける
	9	文化勲章、文化功労者	
	10～14	新任の挨拶	
1992 7 No.10	2	センター長挨拶	センター長 大須賀節雄
	3	先端学際工学専攻の設置	
	4	先端研創立5周年記念シンポジウム	
	5	お知らせ／オープンハウス開催のお知らせ	
	6	受賞	二タ村森講師が石油学会奨励賞を受賞 山下真司助手と大越孝敬教授が電子情報通信学会論文賞を受賞 保立和夫助教授と大学院生奥川徹さんが第4回オプトエレクトロニクスコンファレンスの最優秀論文賞を受賞
	7	人事異動	
	8～13	新任挨拶	
	14	平成4年度行事予定	
1993 1 No.11	2	センター長挨拶	センター長 大須賀節雄
	3	先端学際工学専攻の入試結果	
	4	第4回 先端研オープンハウス	

	5	第11回先端科学技術公開シンポジウム開かれる	
	6	お知らせ/先端学際工学専攻博士課程学生募集(2月募集)について	
	7～8	受賞	大越孝敬教授が東京都科学技術功労者に選ばれる 古川俊之元教授と柳田博明教授の共著が技術科学図書文化賞を受賞 佐藤知正教授が計測自動制御学会論文賞を受賞 須賀唯知助教授らが日本金属学会論文賞を受賞 榎学講師が日本金属学会奨励賞を受賞 渡部勲技官がターボ機械協会“匠”を受賞
	9	人事異動	
	10～14	新任挨拶	
	15	先端研レクリエーション	テニスの部開催 先端研のハイキングの昨日と今日そして明日/岡部研金 充起
	16	RCASTERS' SALOON 啓蟄の頃に想う/村上陽一郎	
1993 4 No.12	2	センター長挨拶—センター長に就任して—	センター長 村上陽一郎
	3	挨拶—センター長退任に際して—	前センター長 大須賀節雄
	4	一定年退官にあたって—先端研設立前後の思い出など—/大越孝敬	
	5	第12回先端研公開シンポジウム[人工生命体を目指して]開催 第13回先端科学技術公開シンポジウム	
	6	森山文部大臣東大先端研視察	
	7	第4回寄付研究部門懇談会開催 受賞	佐藤知正教授が日本ロボット学会論文賞を受賞 大越孝敬元教授が電子情報通信学会功績賞を受賞 大越孝敬元教授が日本学士院賞を受賞
	8	人事異動	
	9～12	新任挨拶	
	12	先端研レクリエーションの開催	
	13	RCASTERS' SALOON/二本鋭雄	
1993 9 No.13	2	センター長挨拶	センター長 村上陽一郎
	3	大学院工学系研究科先端学際工学専攻の入学試験の結果について	
	4	第13回先端研公開シンポジウム「Intelligence」の開催	
	5	お知らせ/オープンハウス開催のお知らせ	
	6	受賞	山下俊助手が高分子研究奨励金を受賞 河内啓二教授が米国航空宇宙学会(AIAA) Best Presentation Awardを受賞
	7	人事異動	
	8～9	新任挨拶	
	10	2号館図書閲覧室が新装オープンしました 先端研レクリエーション開催	
	11	RCASTERS' SALOON 取り残された玄人集団にならないために/花木啓祐	
1994 1 No.14	2	センター長挨拶	センター長 村上陽一郎
	3	大学院工学系研究科先端学際工学専攻の入学試験の結果について	
	4	第5回先端研オープンハウス	
	5	コンピュータ・通信(NEC)寄付研究部門シンポジウム開催される インドネシア教育文化大臣東大先端研視察	

	6	放送教育開発センターリフレッシュ教育実験	
	7	第15回先端研公開シンポジウム「人間社会とグローバルチェンジ」開催	
	8～9	Our Peers 巨大システム分野	
	10	人事異動	
	11～13	新任挨拶	
	14	先端研レクリエーション開催	
	15	RCASTERS' SALOON 技術から科学へ／藤正巖	
1994 5 No.15	2	センター長挨拶	センター長 村上陽一郎
	3	挨拶—先端研を卒業して—／科学技術産業関連分野 前教授 竹内啓	
	4	挨拶—定年退官にあたって—／前事務長 西口仁典	
	5	大学院工学系研究科先端学際工学専攻について	
	6	都市開発工学 (GC5) 寄付研究部門シンポジウム開催される	
	7～10	Our Peers 情報物理システム分野	
	11	受賞	ヴァチカン国、教皇庁社会科学アカデミー 選出会員 村上陽一郎 秋元肇教授が大気汚染研究協会賞を受賞 山下真司助手が丹羽記念賞を受賞
	12	人事異動	
	13～16	新任挨拶	
	17	19世紀にタイムトラベルした日：ファラデー 金曜講話会に出席して／生体計測分野 藤正巖	
	18	RCASTERS' SALOON 計算機をめぐって／システム・テクノロジー分野 前客員教授 佐藤壽芳	
	19	国際共同研究プロジェクト発足—カリフォルニア大学と「量子遷移」をテーマに／極小デバイス分野 榎裕之	
1994 10 No.16	2	センター長挨拶	センター長 村上陽一郎
	3	大学院工学系研究科先端学際工学専攻の入学試験の結果について	
	4	第16回先端研公開シンポジウム「先端生命科学の話題から—酸素の利用と酸素による疾病と老化—」開催	
	5～7	Our Peers 微小製造科学分野	
	8	受賞	花木啓祐教授が日本下水道協会有功賞を受賞 磯山隆氏（先端学際工学大学院3年：生体計測分野）日本ME学会論文賞・坂本賞受賞
	9	人事異動	
	10～11	新任挨拶	
	12	教授会室・講堂の改修工事について	
	13	RCASTERS' SALOON 日米間の相互学習の時代／科学技術産業関連分野 教授 児玉文雄	
1995 1 No.17	1	センター長挨拶	センター長 村上陽一郎
	2	与謝野文部大臣東大先端研視察	
	2～3	第6回先端研オープンハウス	
	4～7	Our Peers 化学認識機能材料分野	
	7	消防訓練終わる	
	8	受賞等	軽部征夫教授がルント大学から名誉工学博士号を授与される 軽部征夫教授が東京都発明研究功労者に選ばれる 軽部征夫教授がフランス政府から教育功労賞を受賞

野口範子助手がフリーラジカル学会 Young Investigator Award を受賞  
 宮山勝助教授が平成6年度研究調査助成金が採択される  
 李洪玲助手が平成6年度国際技術交流援助金が採択される

	9	人事異動・新任挨拶
	10	平成6年度RCASTレクリエーション大会修了
	11	透過電子顕微鏡室について
	12	訃報
	13	RCASTERS' SALOON 地球環境研究に想う／地球環境物質科学分野 教授 秋元肇
1995 5 No.18	1	センター長挨拶／センター長 岸輝雄
	2	定年退官を迎えて／大須賀節雄 前センター長挨拶／村上陽一郎
	3	Our Peers 光デバイス分野
	4	人事異動・備忘録
1995 7 No.19	1	5月17日 RCAST新人歓迎会のひとコマ
	2	新任挨拶
	3	人事異動・備忘録
	4	第18回先端科学技術公開シンポジウム—酸化窒素NO：その善悪両面の作用 オープンハウスのお知らせ
1995 9 No.20	1	岐阜県と研究推進のための覚書が結ばれる
	2	先端学際工学専攻入試が行われる オランダ—文化—科学省大臣来訪 備忘録
	3	Our Peers 生体計測分野
	4	平成8年3月先端学際工学専攻修了予定者の博士論文予備審査会のお知らせ 人事異動
1995 11 増刊号 No.1	1	先端研ニュース増刊号の発刊に寄せて 先端研の新築第1期工事着工が決定 22号館へのお誘い お便り
	2	先端研周辺の飲食店マップ
1995 11 No.21	1	先端研の新営棟建設について／センター長 岸輝雄 日英シンポジウム「科学と社会」
	2	新任挨拶
	3	Our Peers 極小デバイス分野
	4	第7回先端研オープンハウス 先端研OB懇談会 人事異動
1996 1 増刊号 No.2	1	57号館の夕暮れ／生体計測分野 極小デバイス分野 「日本のマスコミについて思うこと」／掛谷英紀：岡部研究室
	2	館研の愛のスレーブロボット 保立研究室のご紹介
1996 2 No.22	1	1996年年頭に当たって／センター長 岸輝雄

	2	〈先端研探検団活動報告 番外編〉 ／立花隆	
	3	人事異動・備忘録	
	4	Our Peers 地球環境物質科学分野	
1996 4 増刊号 No.2	1 ~ 2	この一年あなたにとって先端研は？	
1996 4 No.23	1	センター長挨拶／センター長 岸輝雄	
	2	新任挨拶	
	3	人事異動	
	4	退任の弁／柳田博明 晴れて学位を手にされた方々 備忘録	
1996 8 No.24	1	「アジアの科学・技術」研究推進 と協同討議の場を！／青木保	
	2	新任挨拶	
	3	国際・産学共同研究センター発足 人事異動	
	4	「ロンドン便り」／白木靖寛 オープンハウスのお知らせ 先端研, NHK衛星放送の番組と なる	
1996 12 No.25	1	「ロンドン便り」(2) 第2回JSPS シンポジウム「科学と社会」／白 木靖寛 先端研OB会開催される	
	2	新任挨拶	
	3	人事異動・備忘録	
	4	先端学際工学専攻入試 環境整備と防災訓練 第8回先端研オープンハウス	
1997 3 No.26	1	大部門の新設と先端研の大部門お よび分野の見直しについて／セン ター長 岸輝雄	
	2	国際・産学共同研究センター看板 を掲げる 就任挨拶／国際・産学共同センタ ー 岡部洋一 備忘録	
	3	停年退官の辞／氏平祐輔	
	4	駒場Ⅱキャンパスの再開発工事・ 東京大学駒場Ⅱ地区キャンパス計 画施設配置図	
1997 9 No.27	1	第2ステージに入った先端研／セ ンター長 二木鋭雄	
	2	センター長を終えて／高信頼性材 料分野 岸輝雄	
	3 ~ 5	ニュース	先端研設立10周年記念行事を開催 先端研で高校生の科学教室を開催 駒場Ⅱキャンパスで合同防災訓練 先端研・生研教職員合同懇談会の開催 町村文部大臣が先端研を視察
	5 ~ 6	Our Peers 知的財産権大部門の 設立と文理融合の理念／科学技術 財産法分野 玉井克哉	
	7 ~ 8	新任挨拶	
	9	人事異動	
	10	平成8年度学位取得者（先端学際 工学） 〈お知らせ〉 オープンハウス開催 のお知らせ	

1998	1	No.28	1	1998年年頭に当たって／センター長 二木鋭雄	
			2～3	ニュース	先端研OB懇談会 第9回先端研オープンハウス 先端研で学部長・研究所長合同会議を開催 RCAST忘年会
			3	新建物状況	
			4	新人紹介	
			5	人事異動	
			6	Our Peers 情報物理システム分野	
1998	5	No.29	1	先端研新建物第一期工事完了	
			2	ニュース	先端研送別懇談会 RCAST新人歓迎会 先端学際工学専攻入・進学者ガイダンス
				晴れて学位を手にされた方々	
			3～4	退任の挨拶	
			5～7	新人紹介	
			8	人事異動	
1998	10	No.30	1	(株)先端科学技術インキュベーションセンター設立	
			2	人事異動	
			3	平成9年度共同研究実績及び課題	
			4	受賞 野口範子助手 日本油化学会進歩賞受賞	
				退任の挨拶	
			4～5	就任の挨拶	
			6	都市環境システム (Urban Environment System)	
1999	1	No.31	1	1999年新しい年のはじまりにあたり = 年頭挨拶 = /センター長 二木鋭雄	
			2	第10回先端研オープンハウス 先端研レクリエーション行事 (卓球) 行われる RCAST忘年会	
			3	1998年9月以降の修了者 人事異動	
			4	Our Peers 分子生物医学分野	
1999	9	No.32	1	センター長挨拶／センター長 岡部洋一	
			2	前センター長退任の挨拶／二木鋭雄 新組織図	
			3	先端学際工学専攻4月入・進学者の入学式・同ガイダンス行われる 先端経済工学研究センター設立	
			4	先端科学技術研究センターⅢ期工事竣工 新4号館完成する 駒場研究センターオープンハウス開催のご案内	
			5	退任の挨拶	
			6～9	新人紹介	
			10	人事異動	
			11	晴れて学位を手にされた方々 (平成11年2月以降) 追悼 金子伊智朗庶務掛長	
			12	Our Peers フォトニクス材料分野	
2000	1	No.33	1	センター長挨拶／センター長 岡部洋一	
			2～3	知財権シンポジウム	

	4	退任の挨拶 新人紹介	
	5	人事異動	
	6	Our Peers 科学技術史	
2000 8 No.34	1	平成12年度オープンハウス報告／ 国際・産学共同研究センター 駒 場第二地区オープンハウス実行委 員長 満洲邦彦	
	2	先端学際工学専攻4月入・進学者 の入学式・同ガイダンス行われる 晴れて学位を手にされた方々	
	3～4	退任挨拶	
	5～8	新人紹介	
	9	人事異動	
	10	北川学君を偲んで／情報デバイス 分野 教授 岡部洋一	
2000 10 No.35	1	赤城サイエンスセミナー報告	
	2	知財権シンポジウム報告	
	3	IT革命と産学連携の研究フォーラム 新人紹介	
	4	人事異動 Our Peers 光デバイス分野 先端学際工学学位取得者(2004.4 ～9)	
2001 1 No.36	1 表紙	「遺伝子を見て、触る」 生命知能 システム分野写真	
	2	巻頭言	法人化の夢／センター長 岡部洋一 リニューアル創刊号によせて／編集委員長 橋本毅彦
	3	来訪者 シンポジウム 新刊書	平成12年度先端研来訪者一覧 「科学ジャーナリストのための公開講座」開かれる 「金融工学」野口悠紀雄・藤井真理子著
	4～5	エッセイ	新世紀へのヴィジョン —先端研と日本の大学への3つ の提言—／ロバート・ケネラー教授
	6	CASTIだより キャンパスだより	「発表前にはCASTIにご一報を！」 先端研忘年会が開かれました 平成12年12月6日 駒場Ⅱキャンパスの環境整備が行われました 平成12 年12月6日
	7	新人紹介 人事異動 掲示板	先端研セクハラ窓口
	8	分野紹介	生命知能システム分野
2001 4 No.37	1 表紙		分子生物医学分野
	2	巻頭言	飛躍のチャンス／センター長 南谷崇
	3	来訪者 記者会見 新刊書	来訪者一覧 4月から着任される全盲全聾の福島智先生の記者会見が 開かれる 佐藤純一・児玉文雄 著「岩波講座現代工学の基礎 社会・技術相関」
	4	エッセイ	生命科学研究と倫理規制政策／米本昌平
	5	AEEだより	3月14日 先端経済工学研究センター長野口悠紀雄教授 が最終講義を講演 タイトル「日本は21世紀に生き残 れるか」
	6	CASTIだより キャンパスだより	米国産学技術移転の底力 ～AUTM Annual Meeting速 報～ 先端研株式会社 オープンハウスのお知らせ
	6～7	人事異動	
	7	新人紹介 掲示板	学生ボランティア募集〈バリアフリー〉
	8	分野紹介	分子生物医学分野

2001 7 No.38	1 表紙 2 ~ 3	「太平洋を渡るアジアの大気汚染」 巻頭言	産学協働の時代／物質デバイス部門長 極小デバイス分野 教授 荒川泰彦
		トピックス	平成13年度オープンハウス報告 物質デバイス大部門 近藤豊教授 日本気象学会賞を受賞
	4	掲示板 エッセイ	盗難にご注意！ 光、音、言葉／生命・情報ネットワーク分野（バリアフリー部門） 助教授 福島智
	5	CASTIだより	CASTIの技術移転～最近のトピック／CASTI取締役副社長兼COO 高田仁
	6	キャンパスだより 新刊書	最新CNC工作機械を導入した新試作工場オープン 廣瀬通孝著「岩波講座現代工学の基礎 システムの構造と特性」
	7	人事異動 新人紹介	
	8	分野紹介	地球大気環境科学分野
2001 10 No.39	1 表紙 2	「酸化チタン光触媒で都市冷房」 巻頭言	科学技術と社会の新しい関係／情報システム部門長 生命知能システム分野 教授 廣瀬通孝
	3 ~ 4	トピックス	バリアフリー部門福島助教授「The New York Times」に紹介される 「知の対話～サイエンスジャーナリストの為の公開講座」報告 林勝彦（NHKエンタープライズ21、元インタラクティブシステム分野客員教授）
		記者会見	8月1日付けで寄付研究部門実装工学（IMSI）の客員教授に元東芝セミコンダクター社の奥村勝弥氏が着任
	5	エッセイ	事例の読み方：遺伝子と場所／先端経済工学研究センター 次世代電子商取引分野 教授 馬場靖憲
	6	CASTIだより ASTECだより 新刊書	「イチローで熱いシアトルは技術移転も熱い！」／CASTI取締役副社長兼COO 高田仁 ～技術移転からスタートアップへ～ 先端科学技術エンタープライズ株式会社（ASTEC）設立 岸輝雄・橋本和仁・遠山暢之 著「岩波講座現代工学の基礎 材料概論〈材料系I〉」
	7	キャンパスだより 人事異動 掲示板	知的財産マネジメント研究会／科学技術財産法 助手 隅藏康一
	8	分野紹介	東門の閉門（施錠）について 光機能性材料分野
2002 1 No.40	1 表紙 2	人工酸素 巻頭言	米国産業に何が起こっていたのか？／先端経済工学研究センター長 児玉文雄
	3	戦略的研究拠点	科学技術振興調整費 戦略的研究拠点計画 「人間と社会に向かう先端科学技術オープンラボ」がスタート／センター長 南谷崇
	4	エッセイ	30年後の科学技術を予測する／生体機能工学分野 教授 軽部征夫
	5	トピックス	シンポジウム「先端科学技術と産学連携」 「知的財産・産学連携ワークショップ」
	6	CASTIだより 新刊書	CASTIの現在／CASTIアソシエイト 松田邦裕 相田義明・平嶋竜太・隅藏康一 著「先端科学技術と知的財産権」
	7	新人紹介 人事異動 AIEJ/ユネスコ青年交流信託基金：国際交流担当者プログラムに参加して／研究協力掛 山下英明	
	8	分野紹介	生命反応化学分野
2002 4 No.41	1 表紙 2	金属ナノ粒子と光近接場 巻頭言	魅力ある卓越した研究拠点へ向けて／センター長 南谷崇

	3	戦略的研究 講演	科学技術振興調整費 戦略的研究拠点計画 3月6日 国際・産学共同研究センター 軽部征夫教授（先端研教授併任）の東京大学最終講義が行われた
	4	エッセイ	違いをもたらしたもの／先端経済工学研究センター 先端金融工学分野 教授 藤井真理子
	5	CASTIだより	AUTM 年次総会に出席して／CASTI 取締役副社長兼 COO 高田仁
	6	ASTECだより 新刊書	新体制 ・ベンチャー支援事業 ・リエゾン事業 橋本毅彦著「＜標準＞の哲学—スタンダード・テクノロジーの300年」 渡部俊也・隅藏康一著「TLOとライセンス・アソシエイト—新産業創生のキーマンたち」
		キャンパスだより 掲示板	テクノロジービジネスセンター 教養学部学生のための先端科学技術研究入門コース—UROP (Undergraduate Research Opportunity Program)—
	7	新人紹介 人事異動	
	8	分野紹介	フォトニクス材料分野
2002 7 No.43	1 表紙	「まちづくり」の研究と実践	
	2	巻頭言	変貌する生命大部門／生命第部門長 ゲノムサイエンス分野 教授 油谷浩幸
	3	トピックス	平成14年度オープンキャンパス報告 第6回アジア科学技術会議
	4	エッセイ	社会に副交感神経系を／客員教授 鳥井弘之
	5	戦略的研究	科学技術振興調整費 戦略的研究拠点計画 22人の特任教授・特任助教授等を定員外教員として新規採用 —卓越した研究拠点へ向けた先端研組織改革への第一歩— 6月8日 研究室公開およびセミナー報告 人間と社会に向かう先端科学技術オープンラボ研究公開セミナー開催される
	6	CASTIだより	(株)先端科学技術イノベーションセンター (CASTI) 新人着任あいさつ
	7	ASTECだより AcTeBだより	投資事業組合 先端研テクノロジービジネスセンター (AcTeB) ディレクティングマネージャー 廣瀬弥生
		新刊書	荒井寿光+知的財産国家戦略フォーラム著「知財立国—日本再生の切り札100の提言—」 廣瀬通孝著「空間型コンピューター「脳」を超えて」
	8	人事異動	
	8～15	新人紹介	
	16	分野紹介	都市環境システム分野
2002 10 No.44	1	表紙写真	「こんな機械があったらいいな」シンポジウム（2002年6月7日） 日本初電子投票のバリアフリー実踏調査（岡山県新見市、2002年6月23日） 第1回国連障害者の権利条約特別委員会 NGO ミーティング（国連本部・ニューヨーク 2002年8月7日）
	2	巻頭言	帆を揚げよ！／物質デバイス大部門 高信頼性材料分野 教授 相澤龍彦
	3	エッセイ	「評判」の力／インタラクティブ・システム 客員助教授 中山一郎
	4	トピックス	インターナショナル・ハウス／物質デバイス大部門 極小デバイス分野 助教授 染谷隆夫
		新刊書	Daniel J. Jacob 著 近藤豊訳 「大気化学入門」
	5～6	戦略的研究	科学技術振興調整費 戦略的研究拠点計画 新規核酸材料の開発に関する研究 日欧ケミカルナノテクノロジーに関する研究
	6	人事異動	
		CASTIだより	CASTIのロイヤリティ収入が1億円突破
	7	ASTECだより	ASTEC ファンドが募集終了 大学発ベンチャーの波が本格化 ヴァンダービルト大学スタドラー氏が来日

		AcTeBだより	今後の活動予定 先端研テクノロジービジネスセンター (AcTeB) ディレク ティングマネジャー 廣瀬弥生
	8	分野紹介	バリアフリープロジェクト (福島研究室)
2003 1	No.45	1 表紙	街の中で、異次元の時間の流れを 体験する マシュマロスコープ
	2 ~ 3	巻頭言	産学連携とNPO/情報システム大部門 微小製造科学 分野 教授 須賀唯知
	3	CASTIだより	発明開示+特許出願総数がもうすぐ1000件 新人の活躍に期待
	4	ASTECだより	丸の内にオフィス開設 総合科学技術会議 ファンド運営事業の現状 ベンチャー支援機能の今後 リエゾン機能
	4	AcTeBだより	TBIプロジェクト 産学連携リエゾン 知財オープンスクール AcTeBレビュー 産学連携シンポジウム
	5	エッセイ 新刊書	上海万国博は知価革命を生む/客員教授 堺屋太一 廣瀬通孝・小木哲朗・田村義昭著 「シミュレーション の思想」
	6 ~ 7	戦略的研究	インキュベーションプロジェクト 親指サイズ電子顕微鏡の研究・開発/特任教授 三好元介 五感情報通信プロジェクトについて/ディレクター 廣 瀬通孝
	8 ~ 9	トピックス	科学技術産業創生と大学改革シンポジウム 国際競争力 ある大学研究システムを考える 国際競争力ある大学研究システムを考える 先端科学技術研究センター 新たな研究開発への取り組み
	9	新人紹介	
	11	人事異動	
	12	研究室紹介	岩井研究室[五感情報通信に関する研究]
2003 4	No.46	1	高信頼性材料
	2	巻頭言	目指すべき姿/センター長 南谷崇
	3	エッセイ	「先端研」の思い出/元客員教授 慶應義塾大学教授 島田晴雄
	4 ~ 6	戦略的研究	知的財産権大部門 インキュベーションプロジェクト 「癌転移抑制」 知識創造活用サイクルの変革プロジェクト ~インタラ クションデザインの工学的支援へ向けて~/中小路久美代 先端研テクノロジービジネスセンター (AcTeB) ディレ クティングマネジャー 廣瀬弥生
	6	AcTeBだより	
	7	新人紹介	
	7	人事異動	
	8	分野紹介	高信頼性材料研究グループ
2003 7	No.47	1	表紙写真 (100年前の声をロウ管 から再現する)
	2	巻頭言	基礎研究と応用研究のバランス/先端学際工学 科学技 術・科学技術政策 教授 橋本毅彦 指点字
	3	エッセイ	電力不足の経済学/研究戦略・社会システム大部門 情 報文化社会分野 教授 伊藤隆敏
	4	戦略的研究	システム生物医学 2000年から2010年のゲノム革命を担うため生まれたシ ステム生物医学ラボラトリー/動的システム生物医学 ディレクター・特任教授 児玉龍彦
	5		「動的システム生物学に関する研究」 一生細胞で分子動 態を見る一/特任教授 柴崎芳一
	6		アジアエコデザイン

			IT社会のエコデザイン ～低カーボン社会の実現に向けて～/特任教授 藤本淳
	7	ASTEC だより	先端科学技術エンタープライズ株式会社 (ASTEC) 代表取締役社長 若林拓朗
	7	トピックス	平成15年度キャンパス公開報告 一昨年を上回る来訪者で賑わう
	8		引き算か、積分か、それが問題だ/「システム生物医学の創成」国際シンポジウムのご報告 児玉龍彦
	9	新刊書	藤本淳・須賀唯知・梅田靖・小濑弘明・小暮啓 著「エコデザイン革命—環境とビジネスの両立—」 後藤晃・長岡貞男 編 「知的財産制度とイノベーション」 後藤晃・小田切宏之 編 「日本の産業システム (3) サイエンス型産業」 光成沢美 著「指先で紡ぐ愛—グチもケンカもトキメキも」
	10	人事異動	
	10 ~ 11	新人紹介	
	12	分野紹介	生命・情報ネットワーク分野
2003 10 No.48	1	ファイバブラッググレーティングを用いた光機能デバイスの開発	
	2	巻頭言	生命の時代/生命大部門長 教授 浜窪隆雄
	3 ~ 4	エッセイ	先端研エッセイ2000/研究戦略・社会システム大部門 資源・エネルギー・環境政策分野 教授 渡部俊也
	4 ~ 5	戦略的研究	ダイナミカルバイオインフォーマティクス: マイクロアレイ解析向け文献情報からの生物のネットワークの抽出 / 特任教授 井原茂男
	6	新刊書	小宮山真・竹内俊文・務川高志・浅沼浩之 著「Molecular Imprinting — From Fundamentals to Applications —」 (分子鋳型法—基礎から応用—)
	6	人事異動	
	7	CASTI だより	株式会社先端科学技術インキュベーションセンター (CASTI) 代表取締役社長兼CEO 山本貴史
	8	分野紹介	光デバイス分野
2004 1 No.49	1 表紙	MMI型双安定半導体レーザに基づく全光フィリップフロップの実現	
	2	巻頭言	教授会セミナー/物質デバイス大部門 教授 宮野健次郎
	3	エッセイ	1990年代の日本経済産業の技術/先端経済工学研究センター センター長・教授 後藤晃
	4	戦略的研究	高機能性マグネシウム合金の実用化研究プロジェクト— 期限付きプロジェクトで新素材の基盤技術をいかにして社会に根付けるか?—/ディレクター・特任助教授 近藤勝義
	5	AcTeB だより	TBI プロジェクト・産学連携リエゾンセミナー・産学リエゾン/廣瀬弥生
	6	トピックス	先端研フォーラムの開催を終えて/先端科学技術研究戦略 特任助手 馬場敏幸
	7	人事異動	
	8	分野紹介	情報デバイス
2004 4 No.50	1 表紙	ゲノムサイエンス図表	
	2	巻頭言	所長 橋本和仁
	3	エッセイ	法律上の「ひと」の現代的意義/客員教授 NTTアドバンステクノロジー株式会社 知的財産事業本部長 澤井敬史
	4 ~ 5	戦略的研究	人間本位の情報応用バリアフリー空間の構築—障害のある人や高齢者のニーズに基づいた生活機能支援技術—/ 特任教授 中野泰志
	6	ASTEC だより	先端科学技術エンタープライズ株式会社 取締役副社長 樺木明
	6	新刊書	金子勝・児玉龍彦 著「逆システム学—市場と生命のしくみを解き明かす—」
	7	人事異動	
	8	分野紹介	ゲノムサイエンス

2004 7 No.51	1 表紙	ロボットによる宇宙環境保全技術を開発	
	2	巻頭言	プライバシーを守る文理融合／情報システム大部門応用情報工学分野教授 国際・産学共同研究センター長 安田浩
	3	エッセイ	研究室を創る／先端科学技術研究戦略分野 教授 御厨貴
	4	トピックス	平成16年度キャンパス公開報告—産学連携研究の成果に関心集る
	4	戦略的研究	東京におけるブラックカーボンの挙動／メガシティにおけるオキシダントの光化学制御戦略に関する研究プロジェクト 特任助教授 駒崎雄一
	5	戦略的研究	先端医療システム構築に関する研究—難治性疾患に対する最適治療戦略の構築／次世代知的財産戦略研究 ユニット構築に関する研究プロジェクト 特任助教授 森口尚史
	6	CASTIだより	株式会社東京大学TLO(CASTI)アソシエイト／鈴木淳子
	6	キャンパスだより	13号館リモデリング
	7	新刊書	宮野健次郎 著 「「伝えるための理工系英語」—適切な表現への手引き—」 小宮山真 著 「生物有機化学—新たなバイオを切り拓く—」 大西隆 編・著 「都市を構想する」 大西隆 著 「逆都市化時代」 大西隆 他 監修・著 「欧米のまちづくり・都市計画制度—サステイナブルシティへの途」 長瀬修、川島聡 編・著 「障害者の権利条約—国連作業部会草案」 榊佳之、笹月健彦、油谷浩幸 編 「【特集】 ヒトゲノム—生命システムの理解と医学への展開」 宮本喜一著 「挑戦続く東大先端研」 妹尾堅一郎 編、雷害リスク低減コンソーシアム著 「雷害リスク—急増する新型 被害への対策—」 妹尾堅一郎 著 「知的情報の読み方」
	7	人事異動	
8	分野紹介	宇宙環境システム学分野	
2004 10 No.52	1	世界初！リアルタイムで動く仮想試着室MIRACLE	
	2	巻頭言	持たざる強み／物質デバイス大部門フォトニクス材料教授 宮野健次郎
	3	エッセイ	先端研と知的財産の10年／知的財産権大部門知的財産法 教授 玉井克哉
	4	戦略的研究	バキュロウイルスディスプレイ法を利用した機能的膜蛋白質の発想とその応用技術 バキュロウイルスを用いた機能的蛋白質の大量発現法の開発およびその応用プロジェクト／特任助教授 先浜俊子・教授 浜窪隆雄（生命大部門分子生物医学分野）
	5	戦略的研究	次世代ジャーナリスト育成のために 安全・安心な社会を実現する科学技術人材育成プロジェクト／特任教授 武田徹
	6	経営戦略室便り	澤昭裕教授
	6	AcTeBだより	先端研テクノロジービジネスセンター（AcTeB） 特任助教授 廣瀬弥生
	7	新刊書	後藤晃・鈴木潤 監訳 「イノベーションの経営学—技術・市場・組織の総合的マネジメント—」
7	人事異動		
8	分野紹介	応用情報工学分野	
2005 1 No.53	1 表紙	「安心・安全で快適なコンピュータを創る」	
	2	巻頭言	新しい大学のリーダーシップ／教授 馬場靖憲
	3	エッセイ	国民の関心が最も高い生活領域である医療への貢献を／医療政策分野 特任助教授 近藤正晃ジェームス
	4	戦略的研究	特許と革新 研究の新しいジレンマ—米国における三つの論点を中心に—／先端産業創出戦略分野特任教授 ジョン・P・ウォルシュ
	5	経営戦略室だより	経営戦略担当教授 澤昭裕

	5	ASTEC だより	先端科学技術エンタープライズ株式会社(ASTEC) 代表取締役 若林拓朗
	6	トピックス	「先端研フォーラム2004～科学技術分野における人材育成および流動化」開催報告／戦略的研究拠点推進室 神野智世子
	7	新刊書	先端研日本語ウェブサイトリニューアル 米山茂美・渡部俊也 編著「知財マネジメント入門」 伊福部達 著「福祉工学の挑戦—身体機能を支援する科学とビジネス—」 菅裕明 著「切磋琢磨するアメリカの科学者たち—米国アカデミアと競争的資金の申請・審査の全貌—」
	7	掲示板	人事異動・掲示板～13号館事務室の改修工事
	8	分野紹介	情報物理システム分野
2005 4 No.54	1 表紙	ナノ領域における誘電特性の評価 欠陥エンジニアリングによる非鉛強誘電・圧電材料の開発	
	2	巻頭言	時代に先じた真の国際競争力をもつ高等研究機関の実現を目指して： 先端研の課題と新たな挑戦／所長 橋本和仁
	3	エッセイ	日本の科学技術政策：品格のある国とアジアの信頼／客員教授 日本学術会議会長 黒川清
	4	戦略的研究	先端まちづくり研究：都市におけるエコシステム Advanced City Planning Research : Urban Ecosystem Initiative 特任教授 ピーター・J・マーコトゥリオ 経営戦略担当教授 澤昭裕
	4	経営戦略室だより	アソシエイト 楠光明
	5	CASTIだより	駒場オープンラボラトリー完成
	6	キャンパスだより	澤昭裕・寺澤達也・井上悟志 編著「競争に勝つ大学—科学技術システムの再構築に向けて」 元橋一之 著「ITイノベーションの実証分析」 メールマガジン「東大先端研NAVI」好評発信中
	6	新刊書	大学院生（先端学際工学専攻）募集 人事異動
	7	トピックス	人事異動
	7	掲示板	化学認識機能材料分野
	8	分野紹介	
2005 7 No.55	1 表紙	完全埋込型補助人工心臓の開発	人工生体機構分野 完全埋込型時補助人工心臓の開発
	2～3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	「評価」から「解説」へ／教授 堀浩一
	4	—COLUMN— コラム	北京滞滞在記—中国の都市開発とIT技術をめぐって／教授 橋本毅彦
	5	—ESSAY— エッセイ	
	6～7	—PROJECT— プロジェクト紹介	「互学互修」で、知財立国に推進する人材を養成する～先端知財人材育成オープンスクール（知財マネジメントスクール）～／先端知財人材育成ユニット 特任教授 妹尾堅一郎
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	先端研の産学連携新スキーム／教授 澤昭裕
	9	—FROM AcTeB— AcTeBだより	2005年度の産学連携活動について / ディレクティング マネジャー 廣瀬弥生
	10	—TOPICS— トピックス	キャンパス公開2005を終えて
	11	—BOOKS— 新刊書	「システム生物医学入門」 児玉龍彦・仁科博道 著 「歴史から読む現代経済」 日本経済新聞社 編（第14章「産業技術の革新」後藤晃教授 執筆） 「『交通』は地方再生をもたらすか—分権時代の交通社会—」 国際交通安全学会 編（第6章「人口減少時代の都市再生シナリオ」大西隆教授 執筆） 「岩波講座：都市の再生を考える1 都市とは何か」 間宮陽介ほか（「逆都市化時代の東京圏」大西隆教授 執筆）
	12	—NOTICE BOARD— 掲示板 —NOTICE BOARD— 異動情報 —EDITOR'S NOTE— 編集後記	先端科学技術研究センター見学の受入れについて 編集委員長

2005 10 No.56	1 表紙	研究現場と知的財産マネジメントの連携と人材育成	
	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	資源エネルギー環境政策・日欧ナノテクプログラム・知財人材育成プログラム「研究現場と知的財産マネジメントの連携と人材育成」／渡部俊也・大崎壽・妹尾堅一郎・吉田直哉
	4	—COLUMN— コラム	見直しという試練／大西隆
	5	—ESSAY— エッセイ	特任教授ことはじめ／児玉龍彦
	6 ~ 7	—PROJECT— プロジェクト紹介	「安全・安心な社会を実現する科学技術人材養成」プロジェクト 文部科学省科学技術振興調整費 新興分野人材育成／御厨貴
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	科学技術システム改革「基盤的資金」と「競争的資金」／澤昭裕
	9	—FROM ASTEC— ASTECだより	若林拓朗
	9	—FROM CAMPUS— キャンパスだより	目黒区自衛消防審査会で最優秀賞
	10	—TOPICS— トピックス	先端学際工学専攻修了式
		—BOOKS— 新刊書	「いま、この研究がおもしろい」 岩波書店編集部編 〔新しい脳の科学とロボットを生み出す〕《福祉工学》伊福部達教授 〔政策研究のメソドロジー～戦略と実践～〕 北川正恭・縣公一郎・総合研究開発機構 共編（第三部12章「自立型市民参加のまちづくり」を大西隆教授が執筆） 〔気象研究ノート第209号「先端資質分析技術による反応性大気化学組成の測定」〕 近藤豊編※第二章、第三章は竹川暢之助教授も共同執筆 〔日本の洗濯 考えるエッセンス〕 黒川清、板垣雄三、猪口孝、田辺功 著 【ニュース速報】 2005年10月19日 新日本石油株式会社との間に締結した新形態の組織連携（トライアル連携）に関して、記者会見を行う。
		—NOTICE BOARD— 掲示板	
		—NOTICE BOARD— 異動情報	
		—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 元橋

2006 1 No.57	1 表紙	RNA生命体の創成から遺伝暗号のリプログラミングそして創薬と医療応用へ	
	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	RNA生命体の創成から遺伝暗号のリプログラミングそして創薬と医療応用へ／菅裕明
	4	—COLUMN— コラム	人間に向かう文理融合／伊福部達
	5	—ESSAY— エッセイ	テロ対策雑感／葛西敬之
	6 ~ 7	—SPECIAL— 特集	2005年を振り返る
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	科学技術システム改革「基盤的資金」と「競争的資金」／澤昭裕
	9	—FROM CASTI— CASTIだより	富田尚子
	10	—TOPICS— トピックス	先端研ウェブサイトのご紹介
	11	—BOOKS— 新刊書	「ポスト平成不況の日本経済 政策志向アプローチによる分析」 伊藤隆敏・H.パトリック、D.ワインシュタイン 編（第9章 社債市場と信用リスク評価）を藤井眞理子教授が執筆
	11	—FROM CAMPUS— キャンパスだより	駒場リサーチキャンパス環境整備を実施
	12	—NOTICE BOARD— 掲示板	第三回先端研フォーラムを開催 「人間と社会に向かう先端科学技術オープンラボ」プロジェクトを振り返って 日時：2006年3月9日（木）10：00～17：30頃
		—NOTICE BOARD— 異動情報	
		—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 野口

2006 4 No.58	1 表紙	動的に知識を生み活用するための知能工学	
--------------	------	---------------------	--

	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	動的に知識を生み活用するための知能工学／堀浩一 赤石美奈 田中克明
	4	—COLUMN— コラム	戦略的研究拠点育成事業を終えて／橋本和仁
	5	—ESSAY— エッセイ	ジュネーブとの絆／植村昭三
	6 ~ 7	—PROJECT— プロジェクト紹介	「バキュロウイルス発現プロジェクト」—抗体医療に向けて—
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	研究の自由と資金スポンサーの関心／澤昭裕
	9	—FROM AcTeB— AcTeBだより	平成17年度の活動総括／廣瀬弥生
	10	—TOPICS— トピックス	第三回先端研フォーラム開催 「人間と社会に向かう先端科学技術オープンラボ」プロジェクトを振り返って
	11	—BOOKS— 新刊紹介	「AUTM技術移転実践マニュアル」AUTM（米国大学技術管理者協会）編 （渡部俊也教授が翻訳編集委員） 「生命科学」東京大学教養学部理工系生命科学教科書編集委員会 編 （児玉龍彦教授が共同執筆） 「日本のイノベーション・システム：日本経済復活の基盤構築にむけて」後藤晃・児玉俊洋 編
	11	—NOTICE BOARD— 掲示板	キャンパス公開2006開催 6月1日（木）・2日（金）・3日（土）
	12	—FROM AIS— AIS（先端学際工学専攻）だより	先端学際工学専攻（博士課程）修了式 日時：2006年3月23日 於：東京大学先端科学技術研究センター13号館講堂
		—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 芹澤武
2006 7 No.59	1 表紙	自然の材料の持つ機能発現機構を取り入れた複合材料	
	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	自然の材料の持つ機能発現機構を取り入れた複合材料／香川研究室
	4	—COLUMN— コラム	先導人材育成プログラムの発足と経過／菅裕明
	5	—ESSAY— エッセイ	バイオベンチャーと製薬企業の健全な共存を望む／ロバート・ケネラー
	6 ~ 7	—PROJECT— プロジェクト紹介	「領域創成プロジェクト」—バリアフリーをキーワードに領域をつなぐ—／中邑賢龍
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	研究経営と研究者の多様性～着任のご挨拶に代えて／相馬宣和
	9	—FROM ASTEC— ASTECだより	若林拓朗
	10	—TOPICS— トピックス	「キャンパス公開2006」を終えて
	11	—BOOKS— 新刊紹介	「世界級キャリアのつくり方：20代30代からの国際派プロフェッショナルのすすめ」黒川清／石倉洋子 著
	11	—NOTICE BOARD— 掲示板	東大先端研と富士電機システムズが組織的な連携に関する協定書に調印
	12	—FROM AIS— AIS（先端学際工学専攻）だより	大学院学生募集中〈出願期間：7月10日（月）～18日（火）〉
	12	—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 矢入健久
2006 10 No.60	1 表紙	生物学・情報学・工学の融合へ	
	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	生物学・情報学・工学の融合へ／神崎亮平研究室
	4	—COLUMN— コラム	変わる価値と変わらない価値／中野義昭
	5	—ESSAY— エッセイ	もうひとつのアメリカ～大学視察プログラムに参加して／神野智世子
	6	—PROMISING RESEARCHERS— 若手研究者紹介	バイオとポリマーのインターフェイシャルエンジニアリング／芹澤武
	7	—PROMISING RESEARCHERS— 若手研究者紹介	機械学習技術によるシステム異常検知・診断法の研究／矢入健久
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	政策現場と研究現場／澤昭裕
	9	—FROM CASTI— CASTIだより	サーチャー業務について／山本早苗
	10	—TOPICS— トピックス	先端研に新しいコミュニケーションスペース登場
	10	—BOOKS— 新刊紹介	「グリッド時代：技術が起こすサービス革新」妹尾堅一郎／関口智嗣 著

	11	—NOTICE BOARD— 異動情報	
	12	—FROM AIS— AIS (先端学際工学専攻) だより	先端学際工学専攻 (博士課程) 修了式 日時: 2006年9月29日 (金) 於: 東京大学先端科学技術研究センター13号館講堂
	12	—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 野口祐二
2007 1 No.61	1 表紙	ものづくり革新のための製造情報技術—鈴木宏正研究室	
	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	ものづくり革新のための製造情報技術/鈴木宏正研究室
	4	—COLUMN— コラム	先端研における教育の諸問題/浜窪隆雄
	5	—ESSAY— エッセイ	地球温暖化を巡る常識と非常識/山口光恒
	6	—PROMISING RESEARCHERS— 若手研究者紹介	認知行動システムの顕在的/潜在的過程の科学的解明とその応用/渡邊克巳
	7	—PROMISING RESEARCHERS— 若手研究者紹介	物語工学への挑戦 ~物語を紡ぎだすための情報アクセス・アーキテクチャの確立を目指して~/赤石美奈
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	タテ型・ヨコ型組織 (その1) /澤昭裕
	9	—FROM LIAISON OFFICE— 産学連携だより	産学連携の取り組みについて/西村聡
	10	—FROM CAMPUS— キャンパスだより	10月11日 先端研OB懇談会開催  11月8日 第一回インテレクチュアルカフェ開催 11月20~22日 屋台村出現! 11月24日 駒場Ⅱリサーチキャンパス防災訓練 12月6日 駒場Ⅱリサーチキャンパス環境整備実施 12月18日 (株)デンソーとトライアル連携を開始
	11	—BOOKS— 新刊紹介	Governance and Democracy in Asia edited by Takashi Inoguchi and Matthew Carlson (菅原琢特任助教授が日本の章を共同で執筆) 「参加ガバナンス—社会と組織の運営革新」 坪郷實 編 (大西隆教授が第三章を執筆)
	11	—NOTICE BOARD— 受賞情報	青木輝勝講師/情報処理学会GN研究会優秀論文賞 荒川泰彦教授ら/Technology Innovation Awards 2006 竹川暢之助教授/山本・正野論文賞 橋本和仁教授 渡部俊也教授 第六回山崎貞一賞 (材料分野)
	12	—FROM AIS— AIS (先端学際工学専攻) だより	渡邊克巳助教授/日本心理学会国際賞奨励賞 「先端学際工学専攻」の疑問にお答えします
	12	—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 赤石美奈
2007 4 No.62	1 表紙	自然に学ぶ新しい光エネルギー転換	
	2 ~ 3	—HIGHLIGHT— 分野紹介	自然に学ぶ新しい光エネルギー転換/瀬川浩司研究室
	4	—COLUMN— コラム	成人式/宮野健次郎
	5	—TOPICS— トピックス	先端研は20周年を迎えます。
	6	—PROMISING RESEARCHERS— 若手研究者紹介	核酸ナノ材料の構築を目指して/須磨岡淳
	7	—PROMISING RESEARCHERS— 若手研究者紹介	欠陥を入れて高機能化を図る: 欠陥制御による電子材料の設計/野口祐二
	8	—FROM MANAGEMENT— 経営戦略室だより	タテ型・ヨコ型組織 (その2) /澤昭裕
	9	—FROM ASTEC— ASTECだより	オープンイノベーションの時代/若林拓朗
	10	—FROM CAMPUS— キャンパスだより	キャンパス公開2007のご案内 2007年5月31日 (木)・6月1日 (金)・2日 (土)
		—NOTICE BOARD— 掲示板	先端研におけるシアン化カリウム等の盗難について
	11	—BOOKS— 新刊紹介	「2050年 脱温暖化社会のライフスタイル ~IT社会のエコデザイン~」東京大学RCAST脱温暖化IT社会チーム 電通 消費者研究センター 編 (藤本淳特任教授が編集責任 はじめに、第二章、第三章、おわりに、を執筆) 「政党と官僚の近代」 清水唯一朗 著

11	—NOTICE BOARD— 異動情報	
12	—FROM AIS— AIS（先端学際工学専攻）だより	先端科学技術イノベーターを養成 2006年度後期学位授与者
12	—EDITOR'S NOTE— 編集後記	編集委員 芹澤武

※ 本資料は経営戦略企画室から提供を受けた。



1



2



3



4



5

## 先端研ニュース、先端研概要の変遷

### 先端研ニュース

- 1：1987年7月発行の第1号から第3号まで
- 2：1992年ごろ
- 3：1995年発行の第18号、98年発行の第28号
- 4：2002年以降、スーパーCOE期
- 5：2006年以降

### 先端研概要

- 6：右から、1986年、87年、88年
- 7：右から1990年（一色刷り版）、93年、99年
- 8：右から2004年、02年、06年



6



7



8

---

## 第2節 研究教育・交流活動

何らかの媒体を通してではなく、自らと社会が直接に触れ合う場を作ることも、「社会に向かう」先端研にとっては重要な活動のひとつである。本節では、先端研が開催したそうした交流行事について記述する。これらの行事の記録については、資料4-2-1～4-2-5としてまとめている。

先端研では最初期から、各種セミナー、はシンポジウムが開催された。公開シンポジウムは、第1回こそ東大工学部で行われたが、第2回以降は外部で開かれ、しばしば大阪でも開催された。セミナーは、当初は「RCAST先端科学技術セミナー」の名で統一されていたものの、その後徐々に多様な名称で開催されていった。なお後掲の資料では、2004年以降は先端研が開催した行事（オープンハウスを除く）をまとめて「イベント」として表にまとめた。これは、昨今ではセミナーとシンポジウムの区別が厳密ではなくなり、さらにスーパーCOEなどにより、多くの新たな形態の交流行事が開催されていることによるものである。

研究活動の公開性を高めるための「公開シンポジウム」が始まったのは1989年である。当初は年に数回開催されていたが、やがて後述するオープンハウス時の一回だけになり、現在はオープンハウス内の「(学術)講演会」として残っている。一方で、先端研フォーラムのようなイベントが加わり、分野やプロジェクト単位の行事が多くなっている。

研究活動を研究現場で見ってもらうために実施されたのが「オープンハウス」である。研究室を公開し、一般の人々や報道機関が研究の内容を認知できるよう、こちらも1989年に始まった。名称の変遷を経て、現在は「キャンパス公開」の名で実施されており、駒場Ⅱキャンパス内の他の研究機関と協調して行っている。

なお、資料の散逸、保管状況により、資料に挙げたもの以外にも実施された行事がある可能性が高いことを、ここでお断りしておく。

## 資料4-2-1 公開シンポジウム

回次	日程	開催場所	テーマ
第1回	1989/4/7	東京大学工学部11号館講堂	先端科学技術の夢と現実
第2回	1989/8/7	三田出版会（大阪・梅田）	〃
第3回	1989/11/7	〃	先端科学技術の行くえ
第4回	1990/3/1	学士会館本館202号室	21世紀への先端科学技術をどう展開するか—90年代の人材育成—
第5回	1990/6/21	工学院大学（新宿駅西口）	21世紀の都市空間
第6回	1990/9/20	三田出版会（大阪・梅田）	「ジェネリック・テクノロジーを求めて」
第7回	1991/7/10	三田ホール（東京・御茶ノ水）	先端技術と環境問題
第8回	1991/10/7	工学院大学（新宿駅西口）	極限に挑む
第9回	1991/11/22	三田出版会（大阪・梅田）	破壊と創造
第10回 <sup>※1</sup>	1992/6/10	有楽町マリオン11階	先端科学技術の研究開発の戦略
第11回	1992/10/1	先端科学技術研究センター13号館3階講堂	先端科学技術研究センター学術講演会
第12回	1993/3/16	〃	人工生命体を目指して
第13回	1993/5/21	先端科学技術研究センター2号館講義室	Intelligence
第14回	1993/10/7-8	〃	先端科学技術研究センター学術講演会
第15回	1993/12/8	〃	人間社会とグローバルチェンジ
第16回	1994/6/3	〃	先端生命科学の話題から—酸素の利用と酸素による疾病と老化—
第17回	1994/10/7-8	〃	先端科学技術研究センター学術講演会
第18回	1995/4/14	〃	一酸化炭素NO：その善悪両面の作用
第19回	1995/10/6-7	〃	先端科学技術研究センター学術講演会
第20回	1996/10/4-5	〃	〃
第21回	1997/11/14-15	〃	〃
第22回 <sup>※2</sup>	1998/10/14-15	発明会館ホール	バイオテクノロジーと知的財産権
第23回 <sup>※3</sup>	1999/10/22-23	先端科学技術研究センター4号館講堂（2F）	
第24回 <sup>※3</sup>	2000/6/1-2	〃	
第25回 <sup>※3</sup>	2001/6/8	〃	

本表は、『先端研紀要』（各年度）を参照して作成した。

なお、公開シンポジウムは2002年以降、オープンハウス内の「（学術）講演会」として開催されている。

※1 先端研5周年記念シンポジウム。

※2 国際シンポジウム。

※3 「先端科学技術公開シンポジウム（学術講演会）」として開催。

## 資料4-2-2 オープンハウス

回次	日程	回次	日程
第1回	1989/10/26-28	第11回	1999/10/22-23
第2回	1990/10/15-16	第12回	2000/6/1-2
第3回	1991/10/31-11/1	第13回	2001/6/7-8
第4回	1992/10/1-2	第14回 <sup>※1</sup>	2002/6/6-7
第5回	1993/10/7-8	第15回 <sup>※1</sup>	2003/6/5-6
第6回	1994/10/7-8	第16回 <sup>※1</sup>	2004/6/3-4
第7回	1995/10/6-7	第17回 <sup>※2</sup>	2005/6/2-3
第8回	1996/10/4-5	第18回 <sup>※2</sup>	2006/6/1-3
第9回	1997/11/14-15	第19回 <sup>※2</sup>	2007/5/31-6/2
第10回	1998/10/14-15		

本表は、『先端研紀要』（各年度）、先端研公式サイトを参照して作成した。

なお、いずれの回も開催場所は駒場リサーチキャンパスである。

※1 「東京大学駒場リサーチキャンパス 研究公開／講演会」の名称で開催される。

※2 「キャンパス公開」の名称で開催される。

資料4-2-3 セミナー（2003年以前）

名称	日程	開催場所	主催
RCAST 先端科学技術セミナー			
—科学技術の社会的影響—	1987/10/31	先端科学技術研究センター 本館会議室	社会科学技術関連大部門科学技術産業関連 分野
—11月談話会—	1987/11/16	〃	先端科学技術研究センター
—12月談話会—	1987/12/14	〃	〃
—1月談話会—	1988/1/18	〃	〃
—2月談話会—	1988/2/15	〃	〃
—3月談話会—	1988/3/14	〃	〃
—4月談話会—	1988/4/18	〃	〃
—5月談話会—	1988/5/30	〃	〃
“極限材料と信頼性”	1988/8/22	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門ロボ チックス材料分野
“極限材料と信頼性”	1988/9/13	市ヶ谷私学会館	〃
	1988/9/24	先端研45号館1階会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
—10月談話会—	1988/10/11	先端研本館会議室	先端科学技術研究センター
	1988/10/20	先端研45号館1階会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
“極限材料と信頼性”	1988/10/21	先端研本館会議室	材料連合フォーラム、先端材料大部門ロボ チックス材料分野
—11月談話会—	1988/11/15	〃	先端科学技術研究センター
	1988/11/17	先端研45号館1階会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1988/12/12	〃	〃
—12月談話会—	1988/12/14	先端研本館会議室	先端科学技術研究センター
“極限材料と信頼性”	1988/12/16	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門ロボ チックス材料分野
“極限材料と信頼性”	1989/1/31	〃	〃
—2月談話会—	1989/2/17	〃	先端科学技術研究センター
—米国の再開発—	1989/3/4	〃	先端システム大部門都市環境システム分野
	1989/3/17	先端研45号館1階会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1989/5/22	先端研本館会議室	先端科学技術研究センター
	1989/5/29	〃	先端材料大部門
	1989/7/5	〃	〃
	1989/7/11	先端研本館講堂	先端科学技術研究センター
	1989/7/13	先端研本館会議室	先端システム大部門都市環境システム分野
“極限材料と信頼性”	1989/7/19	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門ロボ チックス材料分野
	1989/8/29	〃	先端科学技術研究センター
	1989/8/29	〃	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
“極限材料と信頼性”	1989/9/13	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門ロボ チックス材料分野
“極限材料と信頼性”	1989/9/27	〃	〃
	1989/9/30	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1989/10/4	先端研本館会議室	先端システム大部門
	1989/10/4	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1989/10/5	〃	〃
	1989/10/6	〃	〃
	1989/10/23	先端研本館会議室	先端材料大部門
	1989/11/15	〃	先端科学技術研究センター

“極限材料と信頼性”	1989/11/22	先端研本館会議室	先端デバイス大部門光デバイス分野	
	1989/11/22	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門ロボ チックス材料分野	
	1989/12/7	〃	〃	
	1989/12/12	先端研45号館		
	1989/12/21	先端研本館講堂	先端システム大部門	
	1990/1/11	〃	〃	
	1990/1/27	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野	
	1990/2/21	先端研本館会議室	社会科学技術関連大部門	
	テーマ「はかる」	1990/2/28	〃	先端デバイス大部門
		1990/3/13	先端研本館講堂	生体計測分野、知識処理・伝達システム分 野、先端デバイス大部門バイオセンサー分 野、科学技術倫理分野
1990/3/15		〃	先端デバイス大部門	
1990/4/6		先端研本館会議室	日本材料強度学会、先端材料大部門・ロボ チックス材料分野	
“極限材料と信頼性”		1990/4/11	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門・ロ ボチックス材料分野
		1990/4/25	〃	〃
“極限材料と信頼性”		1990/5/17	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
		1990/7/23	〃	〃
		1990/7/30	〃	〃
		1990/8/29	先端研本館講堂	先端システム大部門
	1990/9/20	先端研本館会議室	〃	
	1990/10/1	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野	
	“極限材料と信頼性”	1990/10/4	先端研本館会議室	材料連合フォーラム、先端材料大部門・ロ ボチックス材料分野
		1990/10/20	〃	〃
	“極限材料と信頼性”	1990/11/6	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
		1990/11/15	〃	〃
1990/12/12		先端研本館講堂	先端システム大部門	
1990/12/26		先端研本館会議室	〃	
1991/2/13		〃	先端材料大部門	
“極限材料と信頼性”		1991/3/13	〃	材料連合フォーラム、先端材料大部門・ロ ボチックス材料分野
		1991/3/18	〃	先端デバイス大部門
		1991/3/26	先端研本館講堂	〃
		1991/3/27	〃	〃
“先端複合材料”		1991/4/5	先端研本館会議室	日本材料強度学会、先端材料大部門・ロボ チックス材料分野
	1991/5/31	幕張プリンスホテル	材料連合フォーラム、先端材料大部門・ロ ボチックス材料分野	
“先端複合材料”	1991/6/28	先端研本館会議室	〃	
	1991/7/5	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野	
“先端複合材料”	1991/7/22	先端研本館会議室	材料連合フォーラム、先端材料大部門・ロ ボチックス材料分野	
“先端複合材料”	1991/7/24	〃	〃	
	1991/8/7	先端研45号館413教室	先端システム大部門	
	1991/9/10	先端研本館会議室	〃	
	1991/9/18	〃	〃	
	1991/10/3	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野	
	1991/11/11	先端研本館講堂	先端デバイス大部門	

	1991/12/3	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1991/12/10	先端研本館会議室	先端デバイス大部門
	1991/12/10	先端研45号館会議室	〃
	1992/2/6	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1992/2/13	〃	〃 (韓国全南大学校)
	1992/2/14	先端研本館会議室	先端材料大部門
	1992/3/25	先端研45号館講堂	先端システム大部門
	1992/5/20	先端研本館セミナー室	先端材料大部門
	1992/5/26	〃	先端デバイス大部門
“先端複合材料”	1992/5/28	日本コンベンションセンター	材料連合フォーラム、先端材料大部門・高信頼性材料
	1992/6/15	先端研56号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1992/6/29	先端研本館会議室	先端システム大部門
	1992/6/29	先端研本館セミナー室	〃
	1992/7/10	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1992/7/30	先端研本館セミナー室	先端デバイス大部門
	1992/7/31	〃	〃
	1992/8/19	〃	先端材料大部門
	1992/8/26	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1992/8/28	〃	〃
	1992/9/18	〃	〃
“先端複合材料”	1992/10/20	東京都立大学国際交流会館	材料連合フォーラム、先端材料大部門・高信頼性材料
	1992/11/20	先端研本館セミナー室	先端デバイス大部門
	1992/12/9	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/2/4	先端研45号館	〃
“先端複合材料”	1993/2/15	東京大学工学部4号館材料系学科会議室	材料連合フォーラム、先端材料大部門・高信頼性材料
	1993/2/16	先端研本館講堂	先端システム大部門
	1993/3/2	先端研	化学認識機能材料分野
	1993/3/5	先端研本館会議室	先端デバイス大部門
	1993/3/19	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/3/23	先端研本館講堂	先端システム大部門
	1993/4/13	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/4/19	先端研本館会議室 (原文ママ)	先端デバイス大部門
	1993/5/18	先端研	化学認識機能材料分野
	1993/5/18	先端研45号館会議室	先端デバイス大部門
	1993/5/26	〃	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/5/26	先端研2号館講義室	先端デバイス大部門
	1993/6/1	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/6/25	先端研本館講堂	先端システム大部門
	1993/7/19	〃	〃
	1993/7/20	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/7/28	〃	〃
	1993/8/26	先端研本館セミナー室	先端デバイス大部門
	1993/8/27	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1993/9/22	先端研本館講堂	先端システム大部門
	1993/9/24	先端研本館セミナー室	先端材料大部門
“先端複合材料”	1993/11/9	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野

	1993/11/25	先端研本館講堂	先端システム大部門
	1994/7/27	先端研56号館301号室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1994/9/30	先端研45号館	〃
	1994/10/1	先端研46号館	〃
	1994/12/12	先端研56号館	化学認識機能材料分野
	1994/12/18	先端研45号館	化学認識機能材料分野、横浜国立大学工学部センサー講座
	1995/2/13	〃	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1995/3/2	〃	〃
	1995/3/28	先端研56号館301セミナー室	分子情報機能材料分野
	1995/4/5-6	東京大学山上会館CIRP(国際生産工学者会議)	国際セミナー
	1995/6/12	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
(生命科学セミナー「LDLの酸化変性と動脈硬化」)	1995/7/10	先端研13号館教授会室	生命反応化学分野
	1995/8/3	先端研45号館	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1995/11/13	先端研56号館301セミナー室	〃
	1995/11/28	先端研45号館	〃
	1995/11/30	〃	〃
	1995/12/1	〃	〃
	1995/12/4	〃	〃
	1996/1/22	〃	〃
	1996/2/19	先端研56号館301セミナー室	生命反応化学分野
	1996/3/4	〃	〃
	1996/4/3	先端研45号館105号会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1996/4/4	〃	〃
	1996/6/13	〃	〃
	1996/7/16	〃	〃
	1996/7/26	〃	〃
RCAST先端生命科学セミナー	1996/8/9	先端研45号館1階セミナー室	生命反応化学分野
	1996/8/29	先端研13号館教授会室	〃
RCAST先端科学技術セミナー	1996/8/30	先端研45号館105号会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1996/10/7	〃	〃
	1996/10/29	〃	〃
RCAST先端生命科学セミナー	1996/11/22	先端研13号館1階教授会室	生命反応化学分野
RCAST先端科学技術セミナー	1996/12/9	先端研45号館105号会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
RCAST先端生命科学セミナー	1996/12/11	〃	生命反応化学分野
	1997/1/9	先端研45号館1階セミナー室	〃
RCAST先端科学技術セミナー	1997/5/15	先端研	地球環境物質科学分野
	1997/5/27	先端研45号館105号会議室	微小製造科学分野
	1997/6/3	〃	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1997/9/10	〃	生命反応化学分野
	1997/9/12	先端研45号館105号会議室	〃
	1997/9/30	〃	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1997/10/17	〃	生命反応化学分野
	1997/11/13	〃	〃

	1997/12/10	先端研 45 号館 105 号会議室	生命反応化学分野
	1997/12/16	〃	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1998/1/28	〃	生命反応化学分野
(特許法研究会)	1998/2/27	先端研 13 号館教授会室	知的財産権大部門
	1998/4/14	先端研 13 号館講堂	微小製造科学分野
	1998/5/14	先端研 45 号館 105 号会議室	〃
	1998/5/28	先端研 56 号館 503 号室	地球環境物質科学分野
	1998/6/10	先端研 13 号館講堂	微小製造科学分野
	1998/6/19	先端研 45 号館 1 階セミナー室	生命反応化学分野
	1998/9/8	先端研講堂	知的財産権大部門
	1998/9/25	先端研 45 号館 105 号会議室	先端デバイス大部門バイオセンサー分野
	1998/10/21	〃	〃
	1998/10/30	先端研 45 号館 1 階 45 号館 1 階講義室	生命反応化学分野
	1998/11/10	〃	〃
	1998/11/12	〃	〃
実装工学国際フォーラム／セミナー	1999/2/22-23	先端研、東京プリンスホテル	
技術移転の明日と日本の知識社会の将来	1999/7/13	新丸の内ビルディング B1 大会議室	
第 1 回金融工学セミナー	1999/10/25	先端研新 4 号館 2 階講堂	先端経済工学研究センター
第 2 回金融工学セミナー「金融工学と特許」	2000/2/15	先端研新 4 号館 2 階講堂	〃
セミナー「技術革新時代の知財・企業法務」	2000/9/7	新丸の内ビルディング B1 大会議室	先端科学技術研究センター 他
IT 革命と産学連携の研究フォーラム	2000/9/12	先端研 4 号館 2 階講堂	先端経済工学研究センター
第 2 回生命科学政策研究フォーラム	2000/10/27	〃	〃
特別講義「アメリカ特許法の現在と将来」	2001/3/21	JA ホール	先端科学技術研究センター 他
「ビジネスモデル特許の今後の展望」	2001/5/28	新丸の内ビルディング 1F コンファレンスルーム 01	先端科学技術研究センター、国際・産学共同研究センター
「アメリカ特許法の最新動向」	2001/6/14	先端研新 4 号館 2 階大講堂	〃
知的財産・産学連携ワークショップ	2001/11/23-24	先端研 4 号館講堂	先端科学技術研究センター・知的財産マネジメント研究会
東京大学 先端まちづくり学校 (第 1 期カリキュラム)	2002/3/1-3	先端研新 4 号館 2 階講堂	先端科学技術研究センター・先端まちづくり研究ラボ
「知的財産マネジメント研究会」(毎月一回土曜開催)	2002/3/23	先端研 4 号館 2 階講堂・小会議室	先端科学技術研究センター・知的財産マネジメント研究会
「知的財産マネジメント研究会」(毎月一回土曜開催)	2002/4/20	〃	〃
東京大学駒場リサーチキャンパス研究公開・講演会	2002/6/6	駒場リサーチキャンパス先端研 4 号館 2 階講堂 (先端研講堂)	
東京大学駒場リサーチキャンパス研究公開・講演会	2002/6/7	駒場リサーチキャンパス生産技術研究所 B 棟 7 階第一会議室 (生研会議室: BW-701)	
「人間と社会に向かう先端科学技術オープンラボ」研究公開セミナー			
オープニング	2002/6/8	先端研 4 号館 2 階大講堂	
オープンラボプロジェクト	2002/6/8	〃	

テクノロジービジネスインキュベーションプロジェクト	2002/6/8	先端研4号館2階大講堂	
東京大学先端まちづくり学校第2期	2002/8/2-4	先端研新4号館2階大講堂	
第1回 KCCC (Knowledge Creation and Communication Cycle) シンポジウム第二部：パネル討論	2002/10/10	先端研4号館2階大講堂	先端科学技術研究センター
AEEセミナー	2002/10/30	先端経済工学研究センター会議室(14号館)	
AEEセミナー	2002/11/14	先端経済工学研究センター会議室(14号館1F)	
先端まちづくり学校第3期	2002/11/30-12/1	東京大学工学部(本郷キャンパス)	
AEEセミナー	2002/12/10	先端経済工学研究センター会議室(14号館1F)	
AEEセミナー	2002/12/18	〃	
先端まちづくり学校第4期	2003/2/1-2	先端研	
バリアフリーセミナー	2003/2/3	先端研4号館2階	先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト
日仏「技術革新と知的財産」セミナー	2003/3/10-11	日仏会館	フランス大使館/日本知財学会/日仏会館フランス事務所
第2回バリアフリーセミナー	2003/3/20	先端研4号館2階	先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト
文部科学省科学技術振興調整費・戦略的研究拠点育成事業報告会	2003/6/3	東京全日空ホテル プロミネンス	先端科学技術研究センター
産学連携セミナー 産学連携：事実の検証から始める	2003/6/30	先端研13号館1階教授会室	科学技術振興調整費・戦略的研究拠点育成事業「人間と社会に向かう先端科学技術オープンラボ・プロジェクト」「大学による新産業創造：ナショナル・イノベーション・システムに関する研究」
東京大学先端まちづくり学校(社会人向け)第5期/第6期 まちづくりゼミナール	2003/10/18-2004/1/24	先端研	先端科学技術研究センター 先端まちづくり研究ラボ
「安全・安心を実現する科学技術人材養成」プロジェクト 第1回公開セミナー	2003/10/22	アークアカデミーヒルズ アークフォーラムアカデミーホール(アーク森ビル Westwing 36F)	先端科学技術研究センター
「安全・安心を実現する科学技術人材養成」プロジェクト 第2回公開セミナー	2003/11/7	アークアカデミーヒルズ	〃

本表は、『先端研紀要』(各年度)、先端研公式サイトを参照して作成した。

資料4-2-4 シンポジウムなど（2003年以前）

名称	日程	開催場所	主催
国際公開フォーラム「人類の未来に関する創造的研究をめざして（東京会議）——世界の高等研究所の夢と現実——」	1989/9/22	経団連ホール（経団連会館14F）	
未来化学シンポジウム	1992/3/16	東京大学山上会館	先端科学技術研究センター、三井東圧化学(株)
第4回先端材料強度向上と評価シンポジウム—第38回材料強度と破壊国内総合シンポジウム—	1992/6/17	先端科学技術研究センター講堂	材料強度学会、先端材料大部門・高信頼性材料
未来材料シンポジウム	1992/11/4-5	国際文化会館	先端科学技術研究センター、新日本製鉄(株)
第5回先端材料強度向上と評価シンポジウム—第38回材料強度と破壊国内総合シンポジウム—	1993/4/3	先端研講堂	材料強度学会、先端材料大部門・高信頼性材料
文部省平成5年度国際シンポジウム開催経費による“医学・生物学領域における生体温熱科学、および、先端的温熱画像計測法に関する国際シンポジウム”	1993/7/1-3	東京大学山上会館	先端科学技術研究センター
第6回先端材料強度向上と評価シンポジウム—第39回材料強度と破壊国内総合シンポジウム—	1994/4/1	先端研13号館3階講堂	日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本セラミックス協会、日本材料強度学会、日本機械学会、日本学術振興会先端材料強度第129委員会
平成9年度国際シンポジウム（COE）	1997/12/19-20	東京大学山上会館	生命反応化学分野
国際シンポジウム	1998/2/9-10	国際文化会館大会議室、先端研13号館講堂	情報技術社会相関(情報社会論)
シンポジウム「プロパテント時代における情報技術と知的財産権」	1999/12/3	新丸の内ビルディング B1大会議室	
シンポジウム「21世紀型産学連携システムへの提言」	2001/3/19	新丸の内ビルディング 地下大ホール	先端科学技術研究センター 他
シンポジウム「新世紀の知的財産権」開会の辞	2001/3/22	経団連会館	先端科学技術研究センター／(財)日本産業技術振興協会／後援：(株)先端科学技術インキュベーションセンター（CASTI）
先端科学技術と産学連携 シンポジウム	2001/11/20-22	森ビル・アカデミーヒルズ「アカデミーホール」	先端科学技術研究センター
国際・産学共同研究センター II 期棟完成記念産学連携シンポジウム	2002/6/6	国際・産学共同研究センター・5階会議室	
特別講演会	2002/7/4	先端研大講堂	先端科学技術研究センター 知識創造活用サイクルの変革に関する研究プロジェクト
第1回 KCCC(Knowledge Creation and Communication Cycle) シンポジウム第一部：招待講演	2002/10/10	先端研4号館2階 大講堂	先端科学技術研究センター
科学技術産業創生と大学改革シンポジウム2002「国際競争力のある大学研究システムを考える」	2002/10/31	赤坂プリンスホテル 2階 五色の間	〃
科学技術産業創生と大学改革シンポジウム2002「新たな研究開発への取り組み」	2002/11/1	先端研4号館2階講堂ほか	〃
ナノエレクトロニクス連携研究センター発足記念シンポジウム—ナノテクノロジーが開く次世代情報通信素子技術基盤—	2002/11/26	こまばエミナース ダイヤモンドホール	ナノエレクトロニクス連携研究センター
知財におけるグローバルコンピタンスの獲得を目指して ～ 知価経済で必要とされる人材育成 ～	2002/11/28-29	アーク森ビルウェストウィング36階 アカデミーヒルズ アカデミーホール、コンファレンスルーム	先端科学技術研究センター 知財人材育成プログラム、日本知財学会
分子シンクロナイゼーション手法による機能性核酸の構築	2002/12/6	先端研大講堂	文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「新しい材料システム構築のための分子シンクロナイゼーション」

Consolidation of Technology Management with Science Policy Research—科学政策研究から技術マネジメントをめざして—	2003/1/30	先端研4号館2階講堂	先端経済工学研究センター
東京大学／フ라운ホーファ研究機構 IZM ジョイントワークショップ	2003/2/20	ヒルトン東京4F 菊宴	先端科学技術研究センター、フ라운ホーファ研究機構所属 IZM
先端まちづくり学校シンポジウム 「まちづくりを如何に学ぶか」	2003/3/12	日本学術会議講堂	先端科学技術研究センター・先端まちづくり学校 / アカデミーヒルズ・アーク都市塾 / 東京大学大学院都市工学専攻 / 東京都立大学大学院都市科学研究科 / 日本学術会議社会環境工学研究連絡委員会都市地域計画専門委員会 / NPO 法人日本都市計画家協会 / 早稲田大学芸術学校
「システム生物医学の創成」国際シンポジウム	2003/6/25	先端研4号館2階講堂	先端科学技術研究センター・システム生物学ラボラトリー
アジア太平洋オーラルヒストリーワークショップ2003	2003/9/26	先端研4号館大講堂	先端科学技術研究センター御厨研究室 / 政策研究大学院大学 COE オーラル・政策情報プロジェクト
先端研フォーラム	2003/10/30	ホテルオークラ「平安の間」	先端科学技術研究センター
研究・技術計画学会 大会、および総会～	2003/11/7-8	先端研4号館2階講堂 他	研究・技術計画学会

本表は、『先端研紀要』（各年度）、先端研公式サイトを参照して作成した。

#### 資料4-2-5 イベント（2004年以後）

名称	日程	開催場所	主催
「安全・安心と科学技術」プロジェクト 第1回ジャーナリストコースセミナー「科学技術情報の可視化—図解・ビジュアル化の表現技術」	2004/1/24	アークアカデミーヒルズ アーク森ビル WestWing 36F	「安全・安心と科学技術」プロジェクト
東京大学先端まちづくり学校（社会人向け）第8期「都市計画シンポジウム 条例によるまちづくり」	2004/2/23	全国都市会館 大ホール	先端科学技術研究センター 先端まちづくり研究ラボ / 全国市長会 / 社団法人都市計画学会 / NPO 法人東京ランボ
日本政治外交史シンポジウム 歴史から語る日本の国家戦略	2004/4/16	先端科学技術研究センター4号館2階講堂	NPO 法人岡崎研究所 / 先端科学技術研究センター
Advanced ATAC セミナー2004 東京 先端科学技術で住みやすい未来の暮らしを創造するには？	2004/7/17-18	東京大学 大講堂（安田講堂）	ATAC セミナー東京実行委員会 先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト / 香川大学電子情報支援技術研究センター
プラズマ結晶化技術コンソーシアム（日欧ナノテクプログラム）説明会	2004/9/15	先端研3号館2階セミナー室 (1) M202	
「イノベーション・ジャパン・フォーラム2004」大学発ベンチャー支援モデル Exhibition	2004/9/30	東京国際フォーラム	イノベーション・ジャパン 2004 組織委員会
日独セミナー ドイツ発マイクロシステムとナノテクノロジーの応用技術	2004/11/8	ホテルニューオータニ東京 ガーデンコート5階 シリウスの間	
先端研フォーラム2004	2004/11/22	学術総合センター	先端科学技術研究センター
東京大学先端まちづくり学校 第9期「まちづくりと新たな財源」	2004/12/18-19	先端研4号館2階講堂	先端科学技術研究センター 先端まちづくり研究ラボ
DNA/RNA の機能化を目指した化学的新展開	2005/2/3-4	先端研4号館2階大講堂	
2005年デジタルエンジニアリングワークショップ	2005/2/24-25	〃	独立行政法人産業技術総合研究所

第二回 体験記録とその応用シンポジウム	2005/3/4	六本木アカデミーヒルズ 49F スカイスタジオ	先端科学技術研究センター、 独立行政法人産業技術総合研 究所、NTTマイクロシステム インテグレーション研究所
東大先端研 興和基金・システム生物医 学分野 発足記念式	2005/3/9	先端研4号館2階大講堂	
水越伸×岩井俊雄トークセッション「メ ディアの未来に火を灯す」	2005/4/27	紀伊國屋書店新宿本店4階 紀伊國屋ホール	紀伊國屋書店
AEEセミナー「Internal University Structures and Emergent Strategies for Research Collaboration and Engagement with Industry: The Case of Japanese Universities」	2005/5/10	先端研14号館1階会議室	
AEEセミナー「我が国のイノベーション 構造と産総研」	2005/5/30	〃	
AEEセミナー「技術標準の経済的効果」	2005/7/12	〃	
AEEセミナー「The View from the Bench: Patents, Material Transfers and Biomedical Research」	2005/7/28		
「安全・安心と科学技術」プロジェクトオ ープンスクール特別講演会	2005/8/3	六本木ヒルズ アカデミーヒ ルズ49F スカイスタジオ	先端科学技術研究センター「安 全・安心と科学技術」プロジ ェクト事務局
産業・組織心理学会第21回大会実行委員 会、東京大学先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト共催公開シン ポジウム	2005/9/19	東京国際大学第1キャンパ ス2号館3階232教室	産業・組織心理学会第21回大 会実行委員会、先端科学技術 研究センターバリアフリープ ロジェクト
東京大学バリアフリーセミナー「支援技 術と大学教育」	2005/11/29	先端研3号館中2階セミナー 室	先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト
ワークショップ「Knowledge, Community, and Creativity」	2005/12/1	先端科学技術研究センター3 号館中2階セミナー室	
ATACカンファレンス2005	2005/12/2-4	国立京都国際会館アネック スホール	ATAC、特定非営利活動法人 e-AT利用促進協会
3Dデジタルシネマ研究会・展示（「三次 元映像のフォーラム」第74回研究会）	2005/12/3	先端科学技術研究センター4 号館2階大講堂	
バリアフリープロジェクト支援技術セミ ナー「コンピュータを利用した言語コミ ュニケーション」 コンピュータを利用し て人はどこまで実用的に会話できるか？	2005/12/5	先端科学技術研究センター3 号館中2階セミナー室	先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト
第1回 CREST・デジタルパブリックアー トシンポジウム	2005/12/14	東京大学本郷キャンパス 武田先端知ビル5階 武田 ホール	
センシングネットワークシンポジウムー 電磁波技術と情報通信で都市環境に迫る	2006/1/20	六本木アカデミーヒルズ40	情報通信研究機構 電磁波計 測部門
科学技術振興調整費知的財産人材育成事 業 イノベーションと知的財産 米国パル ミサーレポート・仏ペファレポートと 日本の針路	2006/2/17	秋葉原コンベンションホー ル	先端科学技術研究センター、 東北大学工学研究科
光機能材料研究会 第2回ミニ・セミナー やさしい光触媒講座 主婦の目、研究者 の目	2006/2/18	先端科学技術研究センター4 号館2階大講堂	
第三回先端研フォーラム「人間と社会に 向かう先端科学技術オープンラボ」プロ ジェクトを振り返って	2006/3/9	先端科学技術研究センター	
デジタル エンジニアリング ビジョン シ ンポジウム 科学技術振興調整費 戦略的 研究拠点育成事業	2006/3/20	先端科学技術研究センター	先端科学技術研究センター
JSTシンポジウム：ユビキタス社会にお けるガバナンス	2006/6/2	先端科学技術研究センター3 号館中2階セミナー室	
第一回学際バリアフリー研究ワークショ ップ：Hybridianの時代-人とテクノロジー の融合が生み出す新しい能力をどう評 価すべきか？	2006/6/2	先端科学技術研究センター 3号館中2階セミナー室	先端科学技術研究センター/ 東京大学領域創成プロジェク ト

駒場地区 東京大学オープンキャンパス 2006	2006/8/2	東京大学駒場Ⅱキャンパス (リサーチキャンパス)	
障害のある中・高校生のための講演会：君 たちは大学に進学するために何をすべき か？	2006/8/27	東京大学武田先端知ビル 武田ホール	先端科学技術研究センター バリアフリープロジェクト
東大先端科学技術研究センターフォーラ ム東濃-福祉工学が拓く未来社会-	2006/9/1	セラミックパークMINO (岐阜県多治見市)	東濃研究学園都市推進連絡協 議会
「地球温暖化防止とその戦略～脱炭素社会 に向けて～」	2006/10/19	東京大学工学部新二号館1 階大会議室(本郷キャン パス)	先端科学技術研究センター 他
トランスレーショナルシステム疾患生命 科学拠点ワークショップ	2006/11/7	東京大学医学部附属病院入 院棟A 15階大会議室	東京大学
東京大学生命科学研究ネットワークシン ポジウム	2006/11/25	講演：東京大学安田講堂 ポスターセッション：安田 講堂・工学部2号館	東京大学生命科学研究ネット ワーク 他
研究戦略公開シンポジウム 「超低消費電 力化技術のもたらす近未来情報社会像」	2006/12/11	東京大学駒場リサーチキャン パス 総合研究実験棟 (An棟) コンベンションホ ール	独立行政法人科学技術振興機 構
第13回シンポジウム「光触媒反応の最近 の展開」	2006/12/13	東京大学安田講堂、山上会 館	光機能材料研究会
産学連携フォーラム2007	2007/1/22	東京大学駒場リサーチキャン パス駒場コンベンション ホール(総合研究実験棟2 階)	東京大学国際・産学共同研究 センター
科学技術振興調整費 新興分野人材養成 東京大学先端科学技術研究センター「知 識創造専門職育成マネジメントユニット」 最終報告会	2007/3/3	秋葉原コンベンションホー ル	
光と界面がおりなす新しい化学の世界— 光触媒と光エネルギー変換—	2007/3/17-18	東京国際フォーラム ホー ルB5	特定領域研究「光機能界面の 学理と技術」総括班
UT PRIP フォーラム2007 ケータイ社会 の未来像	2007/3/24	先端科学技術研究センター4 号館2階講堂	先端科学技術研究センター・ PRIP Tokyo
蝸管から聞こえる100年前の声～樺太ア イヌ、パリ万博のゲイシャ～	2007/4/18	先端科学技術研究センター 14号館1階カフェ	先端科学技術研究センター
研究室セミナー「地球温暖化の科学と政 策」	2007/4/27	先端科学技術研究センター3 号館3階307号室	先端科学技術研究センター近 藤研究室
第2回 先端研インテレクチャル・カフ ェ「地球温暖化防止と技術開発」	2007/5/15	先端科学技術研究センター 14号館1階カフェ	
光機能材料研究会第15回講演会「光触媒 の標準化・規格化の最新動向」	2007/5/22	先端科学技術研究センター4 号館講堂(2階)	光機能材料研究会(橋本研究 室内)・光触媒工業会
「きれいな空気」ってどんな空気? ～大 気観測から知る東京・アジアの環境～	2007/5/29	先端科学技術研究センター 14号館1階カフェ	先端科学技術研究センター
第15回講演会 光触媒研究講座「光触媒 研究・技術発展の歴史・現状・展望」	2007/6/19	先端科学技術研究センター4 号館講堂(2階)	光機能材料研究会(先端科学 技術研究センター橋本研究室 内)
情報インタラクション技術のデザイン— 書く、描く、観る、聴く、触る—	2007/7/4	先端科学技術研究センター 14号館1階カフェ	先端科学技術研究センター
第七回光触媒研究討論会	2007/7/10	先端科学技術研究センター4 号館講堂(2階)	光機能材料研究会(先端科学 技術研究センター橋本研究室 内)
障害のある高校生のための大学体験プロ グラム	2007/7/25-28	先端科学技術研究センター	先端科学技術研究センター ほか

本表は、先端研公式サイトを参照して作成した。

2004年以後は区分けが難しいため、オープンハウス以外をすべて「イベント」として記載した。

---

## 第3節 報道

ここまで見てきたように、先端研は自らの情報を積極的に発信しているが、同時にさまざまな商業媒体によって報道されている。先端研全体として取り上げられた代表的なものは、NHK『ウィークエンド・スペシャル「立花隆・謎のキャンパスを行く～先端研探検～」』（1996年7月26日放送）である<sup>2)</sup>。これ以外にも、先端研所属教員の研究が紹介されたり、教員自身がナビゲーター、司会等で活躍する例は少なくない。ただしテレビ番組については適切な資料がないため、一覧的に取り上げることは難しい。

本節では、朝日新聞社が提供している記事データベースから、先端研あるいは先端研の構成員が取り上げられた記事を抽出し、件数等を報告し、その傾向を分析する<sup>3)</sup>。

資料4-3-1は、朝日新聞の212件の先端研関連記事について、暦年別、分類別に件数を示したものである。まず暦年別に全件数を見ると、年平均で10件程度、先端研関連記事が掲載されており、年が経過するにつれて件数が増えていることがわかる。参考までに記事の総文字数のデータも付したが、同様に近年になるに従って増加している。たとえば2007年は半年分の集計であるが、すでに2006年と同程度の量の報道がなされている。

朝刊・夕刊の別を見ると、当初は朝夕同程度の掲載件数で、近年になるに従って朝刊記事が多くなっている。夕刊の記事の割合が大きいのは、科学面や文化面で扱われることが多いためである。朝刊の記事が増加しているのは、先端研の構成員が多様化したこと、特に文系を中心とする著名な研究者を次々と招聘したことが、主な理由として指摘できる。たとえば朝刊の総合面や社会面で、立花隆客員教授がしばしば解説等の役割で登場している。第2章第2節で述べたように、1990年代半ばに多くの研究者を三顧の礼で迎えたが、実際に期待通りの活躍を見せていたということを示している。同様のことは、報道された分野からも確認できるが、特に近年は、バリアフリーや政治・社会（情報文化社会分野）、酸化チタン・光触媒など、特定の研究分野に関する報道が多いようである。

また、先端研は実験場としてさまざまな制度改革を行い、また提言を行ってきた。初期は、寄付研究部門や社会人大学院（先端学際工学専攻）が何度か報道され、関連して当時の柳田博明センター長、大須賀節雄センター長の発言が取り上げられている。また近年では、先端研は東大の定年延長に唯一反対をした部局として注目を浴び、岡部洋一センター長の談話などが取り上げられている（年表参照）。最近では、基金教授（第2章第2節参照）の導入に関して報道され、話題となった。

一方、制度だけでなく、所属教員の最新の研究、社会にとって有用な技術の紹介など、研究成果についても広く報道されている。件数で見ると、90年代に入る頃までと、スーパーCOEが始まって以

---

2) 同番組は、平成8年度科学放送賞（高柳賞）の科学放送奨励賞、および第14回ATP賞の情報・バラエティ部門優秀賞を受賞している。

3) 2007年6月末の段階で、『朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル』で東京大学&先端科学技術研究センター、東京大&先端科学技術研究センター、東大&先端科学技術研究センター、東大&先端研、などの組み合わせでキーワード検索を行い、社告、イベントの案内等、記事として扱うには適切でないものを除いた、総計212件の記事をここでは取り扱う。なお、『週刊朝日』、『AERA』の記事は含めていない。

降の時期に多いようである。

以上をまとめると、先端研は、先進的な研究成果と制度改革によって特徴づけられ、なによりまたそのような印象をもとに報道されている、ということになる。

資料4-3-1 先端研に関する新聞報道

年	件数	総文字数	朝・夕刊別		紙 面								分野・研究				内容		
			朝刊	夕刊	科学	社会	地方	総合	文化	おニオシ	経済	その他	バリアフリー	政治社会	酸化ナタニ	知財	制度	研究成果	
1987	1	803		1	1														1
1988	3	3433	2	1	1	2													2
1989	12	15059	6	6	4	5	2						1						4 5
1990	9	12863	4	5	5			2										2	3
1991	6	3535	3	3	2	2							1	1					2
1992	6	3714	2	4	3		2		1										1 1
1993	5	7798	2	3	1	1	1		1	1									2
1994	7	8504	3	4	1	2	2		1									1	
1995	5	3774	3	2		1		3										1	
1996	10	20362	6	4		1	1		3									5	1
1997	8	19563	7	1		1		3	1									3	1 2
1998	14	24233	8	6	1	1	4	3		1	1	3					1	2	1
1999	6	4851	5	1	1		2	1				1	1						2
2000	8	20371	6	2	1		2	2		1								2	3
2001	18	27792	15	3	1	1	2	5	1	1	3	4		3		1	2		3 2
2002	14	32055	12	2	4	1	2			1	1	5		6		2	1		4
2003	19	32558	13	6	4	1	3	1	3	1		6		4	2	1			3 8
2004	12	9940	7	5	1	4	2	1	3						1	1	1		2 1
2005	18	31047	14	4	3	2	3	1	1	3	2	3		2	2	2			2 2
2006	16	18135	9	7	4	3	3	3		1		2		4	2	2			1 7
2007	15	18125	9	6	1	4	1	6		2		1		3	5		1		2
計	212	318515	136	76	39	32	32	31	15	12	10	41		22	12	9	6		29 44

集計に関しては本文参照。2007年は6月末までの集計。



2007年キャンパス公開を伝える中吊り広告



AcTeB Review 創刊号



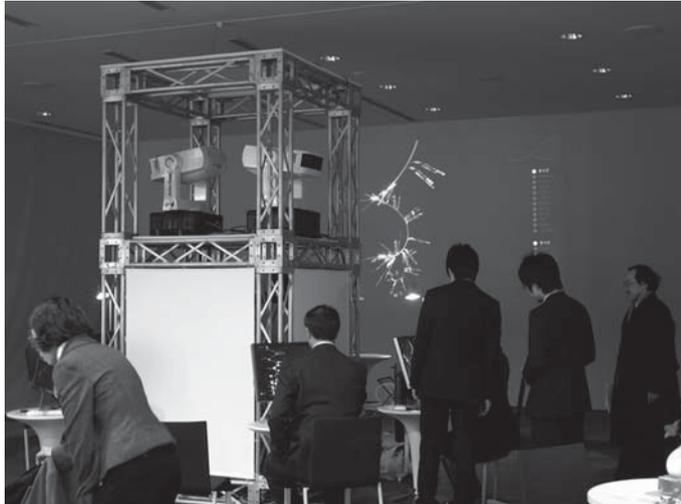
先端研ウォッチャー創刊号



先端研 20周年を伝えるポスター



科学技術産業創生と大学改革シンポジウム2002  
「新たな研究開発への取り組み」  
(2002.11.1)



第3回先端研フォーラム (2006.3.9)



2007年キャンパス公開